

教育なよろ

平成24年度



都会っ子体験交流事業（名寄会場）

平成24年7月30日 旭山動物園

名寄市教育委員会



市章

名寄市の英頭文字「N」をモチーフに、合併する風連町と名寄市の住民が、溢れる自然の恵みに天を仰ぎ感謝し、北の都をみんなで力を合わせ創り上げ発展してく様子を表現しています
(平成18年3月27日制定)

名寄市民憲章

私たちは、秀峰ピヤシリを望み、天塩川の恵みに育まれた美しい緑と樹氷きらめくまち、名寄の市民です。厳しい風雪に耐え抜いた開拓者精神を受けつぎ、郷土を愛する心を大切にしながら明るく、生き生きとした名寄市の発展に努めます。

じぶん ほこ せきにな
自分のまちに誇りと責任をもち、

はな あ
みんなで話し合いながら、

す
住みよいまちをつくります。

けんこう たいせつ
からだところの健康を大切にし、

たが あたた おも
互いに温かい思いやりをもって、

あんしん く
安心して暮らせるまちをつくります。

ゆた しぜん まも そだ
豊かな自然を守り育て、

しぜん ちょうわ く かんきょう
自然と調和した暮らしの環境をととのえ、

かいてき
快適でうるおいのあるまちをつくります。

たの はたら そうぞうりょく はつき
楽しく働き、創造力を発揮し、

ゆた く ほこ
豊かな暮らしを誇れる

かつりょく み
活力に満ちたまちをつくります。

ちせい かんせい
知性と感性をみがき、

ゆた ひと かお たか ぶんか はぐく
こころ豊かな人と薫り高い文化を育み、

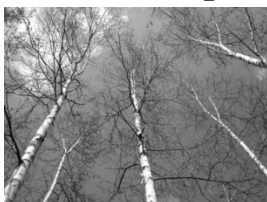
きぼう かがや
希望に輝くまちをつくります。

(平成19年2月26日制定)

【名寄市のシンボル】(平成18年7月25日制定)

市の木

「シラカバ」



市の花

「オオバナノエンレイソウ」



市の鳥

「アカゲラ」



目次

名寄市の概況	
I 教育行財政	
1	名寄市教育目標 ----- 1
2	教育委員会 ----- 2
3	名寄市の教育財政 ----- 5
II 学校教育	
1	平成24年度名寄市学校教育推進計画 ----- 8
2	市内小中学校の概要 ----- 14
3	幼稚園教育 ----- 16
4	学校給食センター ----- 17
5	名寄市立大学・名寄市立大学短期大学部 ----- 20
6	就学の助成 ----- 26
7	各種助成制度 ----- 29
8	名寄市教育研究所 ----- 30
9	その他学校一覧 ----- 32
III 社会教育	
1	平成24年度名寄市社会教育推進の重点 ----- 33
2	生涯学習課・名寄市公民館の事業計画 ----- 34
3	風連地区生涯学習・ 名寄市風連公民館の事業計画 ----- 40
4	名寄市智恵文公民館の事業計画 ----- 44
5	スポーツ振興事業計画 ----- 46
6	市内体育施設 ----- 52
7	名寄市児童センター ----- 56
8	名寄市青少年センター ----- 59
9	名寄市教育相談センター ----- 60
10	名寄市北国博物館 ----- 61
11	市立名寄図書館 ----- 65
12	なよろ市立天文台 ----- 67
IV 資料	
1	審議会・委員会 ----- 69
2	旧名寄市教育の沿革 ----- 72
3	旧風連町教育の沿革 ----- 79
4	名寄市教育の沿革 ----- 83

名寄市の概況

1 位置・地勢

名寄市は、北・北海道の長流天塩川が形成する名寄盆地のほぼ中央に位置し、東は雄武町と下川町、西は幌加内町、南は士別市、北は美深町と接しています。その市域は、東西に約30km、南北に35kmの四角形に近い形となっており、535.23km²の行政面積を有しています。

道路は南北に国道40号、東側に国道239号が通り、また鉄道は南北に宗谷本線が走っており、古くから交通の要衝として幅広い生活圏域を形成した本市は、道北圏の中心都市として発展してきました。

気候は、日本海気象の影響を受ける内陸部に属していることから寒暖の差が激しく、夏冬の温度差は60℃にも及びます。夏季は昼夜の温度差が大きく、冬季は寒気が厳しく降雪量も多い気象条件を有しています。



2 沿革

風連地域は、明治32年、旧村名「多寄町」の名称のもとに剣淵村外3カ村戸長役場の管轄に入ったことにはじまり、風連村を経て昭和28年の町制施行で風連町になりました。

名寄地域は、明治33年、山形県東田川郡東栄村（藤島町を経て鶴岡市）の有志により曙地区に開拓の鍬が下ろされて以来、上名寄村、名寄町を経て、昭和29年に旧智恵文村と合併後、昭和31年に北海道内21番目の市として市制を施行しています。

こうした中で、古くから地理的・人的つながりの深かった両市町は、人的・財政的基盤を強化する必要の高まりを背景に、平成18年3月27日に新設合併して「名寄市」が誕生しました。

3 人口と世帯数

平成24年9月末日現在 人口 30,071人 世帯数 14,634世帯
《内 外国人 144人 120世帯（複合世帯含む）》

1 名寄市教育目標

天塩川にはぐくまれた実りある大地に生きる私たち名寄市民は 郷土の歴史と文化を継承し 国際化の時代をしなやかにたくましく生き ともに支え合
い うるおいと生きがいのある社会の実現をめざしてこの目標を定めます

- 1 北国の風土に生き たくましく成長する人をはぐくみます
- 2 自ら学び 創造的に生きる人をはぐくみます
- 3 ふれあいを大切にし 心豊かな人をはぐくみます
- 4 勤労と責任を尊び よりよい社会を築く人をはぐくみます
- 5 新しい時代を切り拓き 郷土の発展に尽くす人をはぐくみます

(制定 平成19年4月1日)

2 教 育 委 員 会

1 教育委員



委員長 梅野 博



委員長職務代理者 志水 貴江



委員 松田 潤子



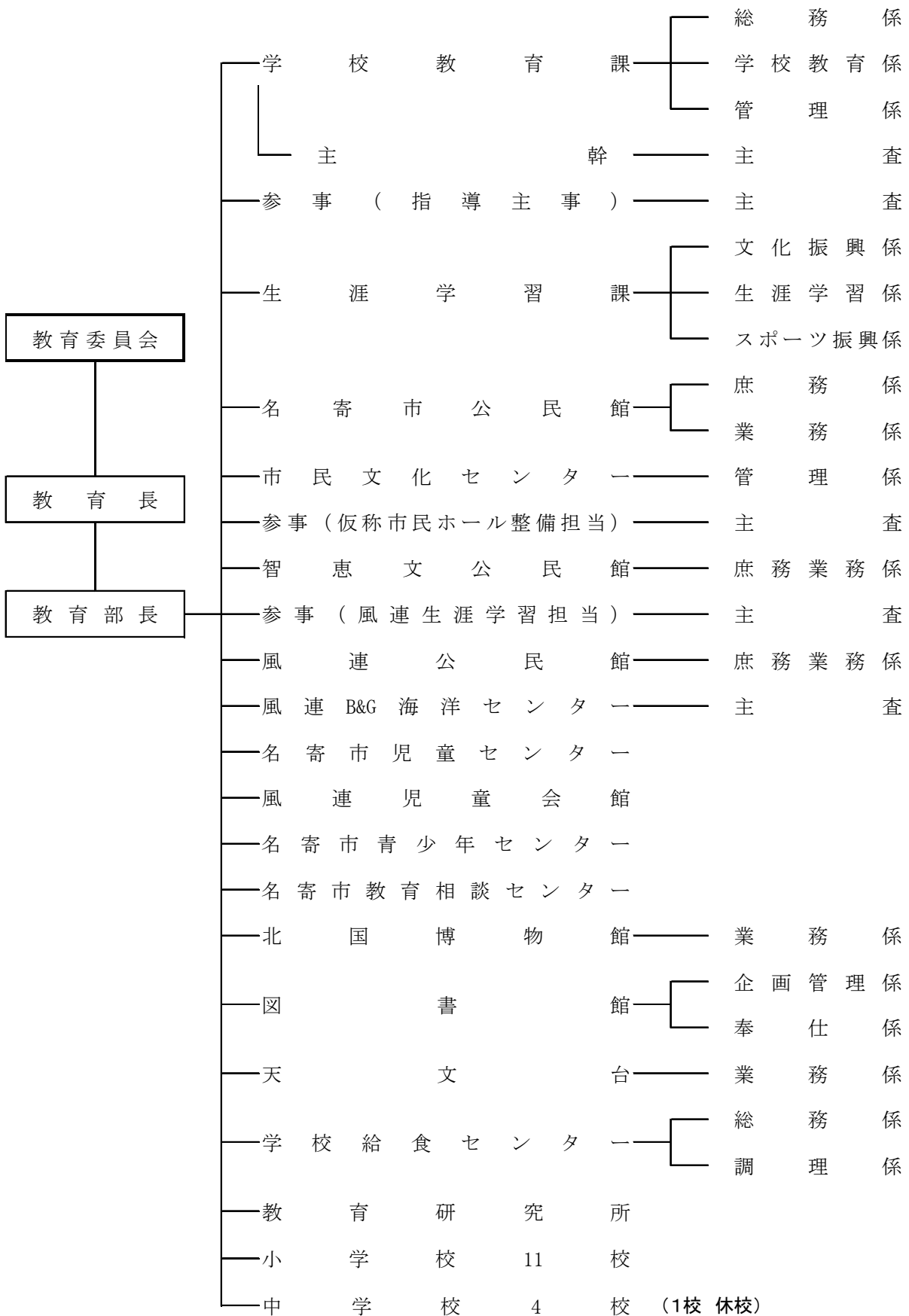
委員 中尾 公一



教育長 小野 浩一

	氏 名	委員就任年月日	住 所
委員長	梅 野 博	平成12年10月1日	名 寄 市 西 1 条 北 1 丁 目
委 員	志 水 貴 江	平成19年5月16日	名 寄 市 大 通 南 6 丁 目
委 員	松 田 潤 子	平成20年5月16日	名 寄 市 風 連 町 字 中 央 5 5 3 - 1
委 員	中 尾 公 一	平成21年5月16日	名 寄 市 風 連 町 本 町 6 8 番 地
教育長	小 野 浩 一	平成23年7月1日	名 寄 市 西 10 条 南 10 丁 目 53 番 地 48

2 行政組織



3 名寄市教育委員会職員数

(平成24年5月1日現在)

	教 育 部 長	課長・館長・所長・ 台長・参事・主幹	社 教 主 事	係 長 ・ 主 査	主 任	事 務 職 員	技 術 職 員	栄 養 士	教 育 職 員	外 国 語 指 導 助 手	嘱 託 臨 時	計
	1											1
学 校 教 育 課		2		3	1	4	1			2	34	47
参事（指導主事）		1		(2)								1(2)
生 涯 学 習 課		1	(1)	3		7	1				1	13(1)
名 寄 市 公 民 館		(1)		(3)		(6)						(10)
市民文化センター		(1)		(1)		(2)						(4)
参事（仮称市民ホール整備担当）		(2)		1(1)		(1)					1	2(4)
智 恵 文 公 民 館		(1)		(1)							1	1(2)
参事（生涯学習担当）		1	(1)	1		(1)	(1)				1	3(4)
風 連 公 民 館		(1)		(1)		(1)	(1)					(4)
風連B&G海洋センター		(1)		(1)		(1)					5	5(3)
児 童 セ ン タ ー		1				1					14	16
風 連 児 童 会 館		(1)				(1)					6	6(2)
青 少 年 セ ン タ ー		(1)				(1)					1	1(2)
教育相談センター		(1)				(1)					4	4(2)
北 国 博 物 館		1		1	1						5	8
図 書 館		1		2	1						14	18
天 文 台		1		1		1					3	6
学校給食センター		1		1(1)				道(2)			31	33(2)
教 育 研 究 所									(230)			(230)
計	1	10(10)	(2)	13(11)	3	13(15)	2(2)	道(2)	(230)	2	121	165(272)

※（ ）＝併任・兼務者数

3 名寄市の教育財政（平成24年度）

1 一般会計予算

【歳入】

(単位：千円)

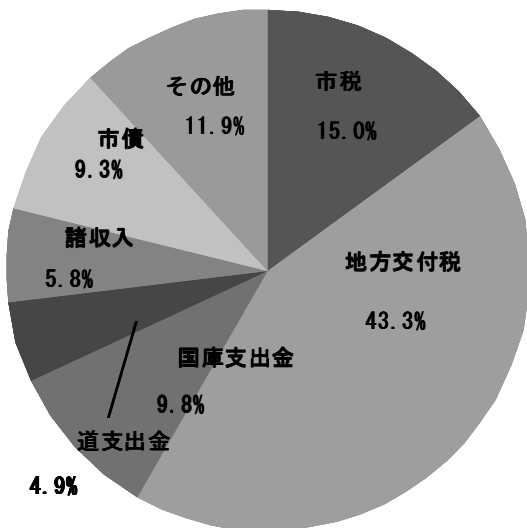
区 分	当初予算額	構成比
市 税	2,925,016	15.0%
地 方 交 付 税	8,420,000	43.3%
国 庫 支 出 金	1,898,784	9.8%
道 支 出 金	946,195	4.9%
諸 収 入	1,137,303	5.8%
市 債	1,804,700	9.3%
そ の 他	2,312,976	11.9%
計	19,444,974	100.0%

【歳出】

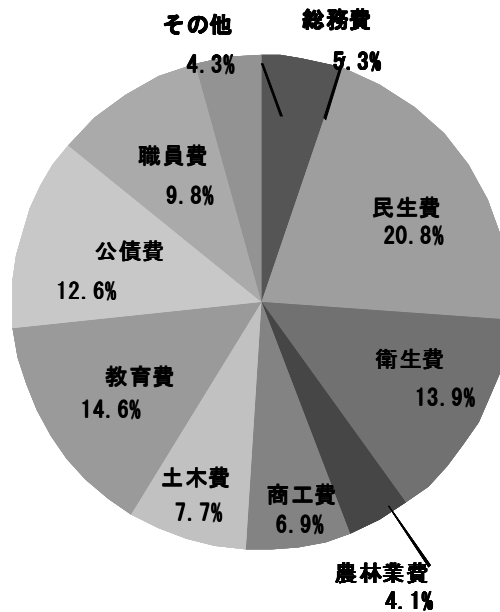
(単位：千円)

区 分	当初予算額	構成比
総 務 費	1,034,455	5.3%
民 生 費	4,038,619	20.8%
衛 生 費	2,703,957	13.9%
農 林 業 費	787,281	4.1%
商 工 費	1,340,389	6.9%
土 木 費	1,498,980	7.7%
教 育 費	2,842,213	14.6%
公 債 費	2,453,324	12.6%
職 員 費	1,905,180	9.8%
そ の 他	840,576	4.3%
計	19,444,974	100.0%

※歳入グラフ



※歳出グラフ



2 教育費の内訳

【歳入】

(単位：千円)

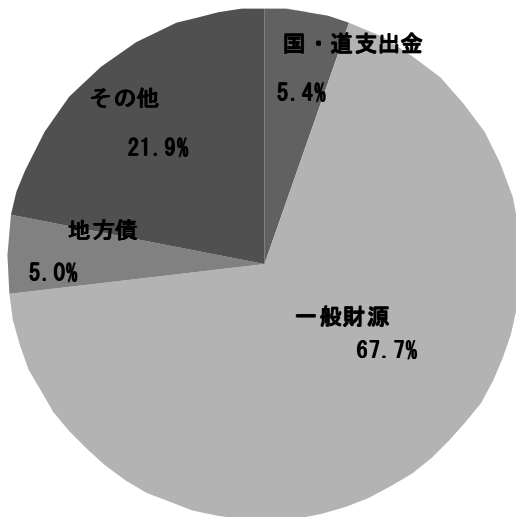
区 分	当初予算額	構成比
国・道支出金	153,232	5.4%
一般財源	1,924,024	67.7%
地方債	141,000	5.0%
その他	623,957	21.9%
計	2,842,213	100.0%

【歳出】

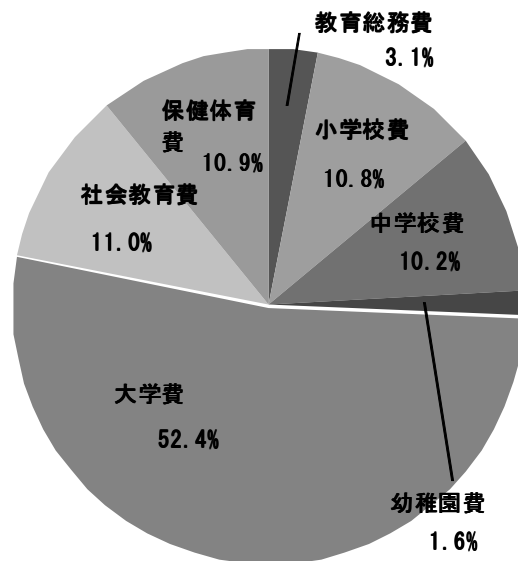
(単位：千円)

区 分	当初予算額	構成比
教育総務費	88,178	3.1%
小学校費	306,315	10.8%
中学校費	291,088	10.2%
幼稚園費	44,385	1.6%
大学費	1,488,707	52.4%
社会教育費	313,358	11.0%
保健体育費	310,182	10.9%
計	2,842,213	100.0%

※歳入グラフ



※歳出グラフ



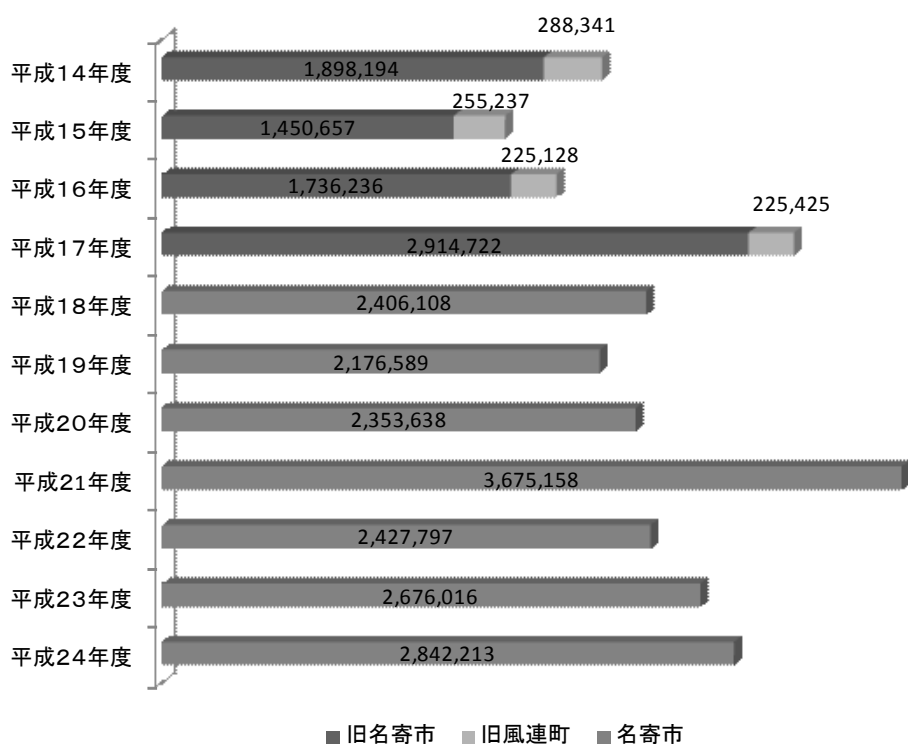
3 教育費予算

(単位：千円)

科 目	(a) 平成 24 年度	(b) 平成 23 年度	(c) 比較増減	(d) 対前年比
	当初予算額	当初予算額	(a)-(b)	(c) ÷ (b) × 100
教 育 費	2,842,213	2,676,016	166,197	6.2
教 育 総 務 費	88,178	75,040	13,138	17.5
小 学 校 費	306,315	292,694	13,621	4.7
中 学 校 費	291,088	144,423	146,665	101.6
幼 稚 園 費	44,385	46,069	△ 1,684	△ 3.7
大 学 費	1,488,707	1,517,022	△ 28,315	△ 1.9
社 会 教 育 費	313,358	355,380	△ 42,022	△ 11.8
保 健 体 育 費	310,182	245,388	64,794	26.4

4 教育費の推移（大学費以外の職員費を除く）

(単位：千円)



1 平成24年度 名寄市学校教育推進計画

【基本理念】

生命に畏敬の念をもち、他人を思いやる心豊かな児童生徒の育成を期するとともに、自主・自律の精神をもち、しなやかにたくましく生きぬくことのできる人間の育成に努める。

【学校経営の方針】

1 学校の自主性・自律性の確立

- (1) 学校の自主性・自律性を発揮し、時代の要請に応える創意に富む学校経営の充実に努める。
- (2) 本市の自然環境や人材などの教育資源を生かしながら、特色のある多様な教育活動を展開し、児童生徒が意欲的に学校生活に取り組むことができる、特色ある学校づくりの推進に努める。

2 自ら学び自ら考える力を育む教育の推進

- (1) 学ぶ意欲を高め、望ましい学習習慣を身に付けさせるとともに、自立した生き方を支える基礎的・基本的な資質・能力として、自ら学び自ら考える力の育成に努める。
- (2) 相手の考えや意見を正しく理解し、自らの考えや意見を適切に伝えることのできる、他者や社会との豊かな関係を築くためのコミュニケーション能力の育成に努める。

3 豊かな心を育む教育の推進

- (1) 基本的な倫理観を身に付けさせるとともに、本市が有する自然環境や歴史、伝統、文化などの特性を生かしながら、自らの生き方を支え、精神的なよりどころとなる、人間尊重の精神や生命への畏敬、思いやりの心や美しいものに感動する心などの、豊かな心の育成に努める。
- (2) 社会性や豊かな人間性を育み、社会の一員としての自覚を促すため、学校と地域社会との連携の下で、自然環境など、本市が有する優れた教育資源を生かした多様な体験活動やボランティア活動等の充実に努める。

4 健やかな体を育む教育の推進

- (1) 生涯にわたって運動等に親しむ資質や能力を育成するため、学校と家庭、地域社会が連携を深めながら、運動する機会を増やすなど、体力・運動能力の向上に努める。
- (2) 日常生活において自己の健康の保持増進を図るために必要な実践力を身に付け、生涯を通じて健康で生き生きとした生活を送ることができるよう、学校・家庭・地域社会が相互に連携を深めながら、健康教育の推進に努める。

5 学校評価・学校職員評価の創意工夫

- (1) 重点目標に沿った自己評価の実施とその公表や保護者・地域住民等による学校関係者評価の充実に努める。
- (2) 学校評価を効果的に生かすことで教育の今日的課題を的確に受け止め、その課題解決を図り、活力ある学校経営の充実に努める。
- (3) 教職員の特性を生かした校務分掌を組織し、学校職員評価を機能させながら教育目標を効果的に達成する学校経営の推進に努める。

6 危機管理体制の確立

- (1) 生命の尊さを自覚し、校内外の事故や交通事故から自らを守る能力や態度を身に付けさせる安全指導の充実に努めるとともに、家庭や地域社会と一体となった事故の未然防止体制の確立に努める。
- (2) 教職員の危機管理意識を高めるとともに、組織体制の確立と機能の充実に努め、危機管理マニュアルや安全マップの充実、登下校時の通学路における児童生徒の安全確保などに努める。
- (3) 教職員の服務規律の保持の徹底に努める。

7 開かれた学校づくり

- (1) 学校の教育活動その他の学校運営の状況について保護者等に積極的に情報提供する取組の充実に努める。
- (2) 学校評議員制度の充実に努めるなど、学校と家庭、地域社会との連携をより深め、期待と信頼に応える開かれた学校づくりに努める。

【学校教育活動の重点】

1 教育課程

- (1) 学校の教育目標の具現化を図るため、改定された学習指導要領を踏まえ、教育課程の効果的な編成・改善に努める。
- (2) 基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得や活用、小中連携教育など、創意ある教育活動の推進に努める。
- (3) 一人一人の能力・適性等に応じた個性を生かす教育活動の充実に努める。
- (4) P D C Aサイクルなど、総合的で適切な評価に基づく教育課程の改善に努める。

2 研修活動

- (1) 教育の今日的課題を踏まえ、名寄市教育研究所の機能を充実し、その活用を図りながら小中学校が一体となった研修を深める。
- (2) 教職員一人一人の考えが活かされた組織体制の確立と、学校の特性を生かした校内研修の充実に努める。
- (3) 教職員の専門性や指導力を高めるため、各種研修会への参加など、教職経験に応じた研修の充実に努める。

3 学習指導

- (1) 児童生徒の興味・関心、能力・適性等を的確に把握し、一人一人のよさや可能性を積極的に生かす指導計画の作成に努める。
- (2) 児童生徒の自ら学び自ら考える力を育成するため、基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得とその活用を図り、主体的に学ぶ意欲の育成に努める。
- (3) 思考力、判断力、表現力などを育むために、各教科等で知識・技能を活用して記録、要約、説明、記述を行うなど言語活動の充実に努める。
- (4) 自分や友達のをさを認め合い、高め合うことのできる学習形態、また教師の特性を生かす指導形態の工夫に努める。
- (5) 確かな学びを促すため、評価規準を取り入れ、指導と評価の一体化に努める。
- (6) 外国語活動を通じて、言語や文化についての理解を深めるとともに、指導の工夫を通して積極的にコミュニケーションを図ろうとする児童の育成に努める。
- (7) 家庭と連携して「早寝・早起き・朝ご飯」運動の啓発活動を継続するとともに、宿題や自己課題を持たせながら家庭での学習習慣の定着に努める。
- (8) 図書館や読み聞かせやボランティアの活用等を通じた読書習慣や家庭学習の定着を図り、豊かな心の育成と規則正しい生活習慣づくりに努める。

4 道徳教育

- (1) 全教職員の共通理解に基づき、自校の指導方針を明確にした全体計画や年間指導計画の作成と指導体制の確立に努める。
- (2) 校長の方針のもと、全教師が力を発揮できる体制を整えるため、道徳教育推進教師の役割を明確にするとともに、協力体制の確立に努める。
- (3) 児童生徒の実態を的確に把握し、道徳的実践力を高める「道徳の時間」の指導の充実に努める。
- (4) 「心のノート」など児童生徒の発達の段階や実態に応じた資料を活用し、効果的な指導に努める。
- (5) ボランティア活動や自然体験活動、幅広い読書活動等を通して、人間や自然に対する思いやりの心を育むとともに道徳的実践力を高める指導の充実に努める。

5 特別活動

- (1) 各教科・道徳・総合的な学習の時間との調和や内容相互の関連を図った全体計画と指導計画の整備・充実に努める。
- (2) 学校や児童生徒の実態に即して題材を設定し指導のねらいを明確にした、健全な生活態度を育てる学級活動の充実に努める。
- (3) 自主的・自発的な活動を促す児童会・生徒会活動、クラブ活動や部活動、その他の教科外活動において児童生徒自らが意欲的に参加する効果的な指導体制の確立に努める。
- (4) 全校または学年を単位として、学校生活に秩序と変化を与え、集団への帰属感を深める学校行事の創意工夫に努める。

6 総合的な学習の時間

- (1) 本校としての目標を設定し、学校や地域、児童生徒の実態に応じて創意工夫を生かした指導計画の作成に努める。
- (2) 市立天文台など優れた地域の教育資源や人材を生かした体験的・問題解決的な活動を通して、探究的な学習の推進に努める。
- (3) 児童生徒の自己評価や相互評価などを生かして、意欲や進歩の状況を把握するとともに、主体的、創造的、協同的に取り組む態度を育てる学習の工夫に努める。

7 生徒指導

- (1) 生徒指導連絡協議会などと連携を密にし、児童生徒の悩みや問題行動の早期発見と早期指導を図り、一人一人の心をとらえた生徒指導の推進に努める。特に、いじめや不登校、薬物乱用防止、携帯電話等情報機器の光と陰についての指導などに迅速・適切に対応するため校内体制を確立し組織的対応に努める。
- (2) 様々な体験学習を通して豊かな心を育むとともに、教育相談や事例研修等を通して、望ましい人間関係を基調とした自己理解と自己実現を促す指導に努める。
- (3) 家庭や地域、サポートチームなどの関係機関との連携強化や協力体制の確立を図り、地域ぐるみで児童生徒の健全育成に努める。

8 体育・健康安全指導

- (1) 生涯スポーツの観点に立ち、スキーやカーリングの振興など、地域環境を生かした体育活動を日常的に取り入れ、基礎体力の向上に努める。
- (2) 学校における適切な環境衛生の保持に努めるとともに、疾病や感染症予防などに対する意識を高め、児童生徒の健康保持増進に努める。
- (3) 発達の段階に即し、指導内容を明確にした性教育や大麻等の薬物乱用防止に関する指導の徹底に努めるとともに、給食活動等を通して正しい食生活の習慣化を図るなど、食育の充実に努める。

9 へき地・複式教育

- (1) 地域と一体となった学習環境の工夫や体験的活動を通して、児童生徒一人一人が、持ち味を發揮し、学ぶ意欲を高める効果的な指導の工夫に努める。
- (2) 創造性や社会性の伸長のため、集合学習や交流学习等の促進と、他校との研修の共同化及び校内研修の充実に努める。
- (3) 地域環境の活用や複式・小規模校の特性に応じた指導計画の工夫と、評価結果を生かした改善や充実に努める。

10 特別支援教育

- (1) 就学指導委員会の効果的な運営に努めるとともに関係機関との密接な連携を図り、就学指導及び中学校における進路指導の充実に努める。
- (2) 児童生徒一人一人の教育的ニーズに適切に対応していく特別支援教育の推進に向け、特別支援教育コーディネーターを中心とした校内における推進体制の充実に努める。

- (3) LDやADHD、高機能自閉症など困り感のある児童生徒への教育支援の充実に向け、関係機関、保護者と連携しながら、個に応じた指導目標や内容、指導方法、指導体制の工夫に努める。

11 国際理解教育

- (1) 姉妹都市や近隣諸国との国際交流の促進、ALTやネイティブスピーカーの活用を図るなどして、国際理解と豊かな地域文化の創造を促す教育活動の推進に努める。

12 教育関係機関等との連携

- (1) 教育関係機関との密接な連携に努めるとともに、名寄市教育委員会との緊密な連携と情報の共有により、各学校の諸課題の解決と効果的運営を図る。
- (2) 少年団活動、学校支援地域本部事業、部活動など課外の諸活動・事業の効果的な取組に向けて連携を図る。

13 通学区域の弾力化

小規模校における通学区域外の就学制度（バリアフリースクール）を設け、豊かな自然環境に恵まれた本市の郊外小規模校において基幹産業を活用した特色ある学習活動を体得し、より豊かな心とたくましい身体を育てることに努める。

中名寄小学校	: 各学年 8名以内 (通常の通学区域内通学者を含む)
智恵文小学校	: 各学年10名以内 (")
智恵文中学校	: 各学年20名以内 (")
東風連小学校	: 各学年 8名以内 (")
風連日進小学校	: 各学年 8名以内 (")

平成24年度 名寄市学校教育推進計画

【市民憲章】

- ・自分のまちに誇りと責任をもち、みんなで話し合いながら、住みよいまちをつくります。
- ・からだところの健康を大切に、互いに温かい思いやりをもって、安心して暮らせるまちをつくります。
- ・豊かな自然を守り育て、自然と調和した暮らしの環境をととのえ、快適でうるおいのあるまちをつくります。
- ・楽しく働き、創造力を発揮し、豊かな暮らしを誇れる活力に満ちたまちをつくります。
- ・知性と感性をみがき、こころ豊かな人と薫り高い文化を育み、希望に輝くまちをつくります。

【基本理念】

生命に畏敬の念をもち、他人を思いやる心豊かな児童生徒の育成を期するとともに、自主・自律の精神をもち、しなやかにたくましく生きぬくことのできる人間の育成に努める。

【学校経営の方針】

- 1 学校の自主性・自律性の確立
- 2 自ら学び自ら考える力を育む教育の推進
- 3 豊かな心を育む教育の推進
- 4 健やかな体を育む教育の推進
- 5 学校評価・学校職員評価の創意工夫
- 6 危機管理体制の確立
- 7 開かれた学校づくり

【名寄市教育目標】

- 1 北国の風土に生き たくましく成長する人をはぐくみます
- 2 自ら学び 創造的に生きる人をはぐくみます
- 3 ふれあいを大切にし 心豊かな人をはぐくみます
- 4 勤労と責任を尊び よりよい社会を築く人をはぐくみます
- 5 新しい時代を切り拓き 郷土の発展に尽くす人をはぐくみます

【学校教育活動の重点】

教育課程	研修活動	学習指導	道徳教育	特別活動	総合的な学習の時間	生徒指導	体育・健康安全指導	へき地・複式教育	特別支援教育	国際理解教育	教育関係機関との連携	通学区域の弾力化
<input type="checkbox"/> 新学習指導要領に基づく効果的な編成・実施 <input type="checkbox"/> 基礎的・基本的な知識や技能の習得と活用 <input type="checkbox"/> 個性の伸長重視 <input type="checkbox"/> 適切な評価改善 <input type="checkbox"/> 小中連携教育 <input type="checkbox"/> 中高連携	<input type="checkbox"/> 研究所の一層の機能化 <input type="checkbox"/> 小中の連携に基づいた校内研修の充実 <input type="checkbox"/> 教職経験に応じた研修の充実	<input type="checkbox"/> 言語活動の充実 <input type="checkbox"/> 指導形態の工夫や教材・教具の活用 <input type="checkbox"/> 指導と評価の一体化 <input type="checkbox"/> コミュニケーション能力の素地を養う外国語活動の充実 <input type="checkbox"/> 家庭との連携による学習習慣の定着	<input type="checkbox"/> 指導計画・指導体制の確立 <input type="checkbox"/> 児童生徒の実態に基づく指導 <input type="checkbox"/> 道徳的実践力を高める指導 <input type="checkbox"/> 「心のノート」の活用	<input type="checkbox"/> 各教科等の調和を図る指導計画の充実 <input type="checkbox"/> 児童会・生徒会、クラブ活動等の充実 <input type="checkbox"/> 学校行事の創意工夫	<input type="checkbox"/> 各校独自の計画立案 <input type="checkbox"/> 体験活動や地域を生かす探究的な学習の充実 <input type="checkbox"/> 評価を生かす学習の工夫	<input type="checkbox"/> 問題行動の早期発見・早期指導 <input type="checkbox"/> 自己理解・自己実現を促す指導の充実 <input type="checkbox"/> 関係機関との連携 <input type="checkbox"/> 生徒指導連絡協議会との連携	<input type="checkbox"/> 基礎体力の向上 <input type="checkbox"/> 保健指導・食育の充実 <input type="checkbox"/> 適切な環境衛生の保持・疾病や感染症に対する予防措置 <input type="checkbox"/> 大麻等薬物乱用防止の徹底	<input type="checkbox"/> 地域を生かす指導の工夫 <input type="checkbox"/> 集合学習や交流学習の促進 <input type="checkbox"/> 少人数の特性を生かす指導の充実	<input type="checkbox"/> 関係機関との連携 <input type="checkbox"/> 校内推進体制の整備 <input type="checkbox"/> 個人の能力・適性に応じた指導の工夫	<input type="checkbox"/> 国際交流の促進 <input type="checkbox"/> A L T などの効果的な活用	<input type="checkbox"/> 教育委員会との緊密な連携と情報の共有 <input type="checkbox"/> 教育関係施設等の活用	<input type="checkbox"/> 郊外小規模校における通学区域外就学制度の弾力化

2 市内小中学校の概要

1 市内小学校一覧

(平成24年5月1日現在) ※ 教員数等には休職者を含む

学校名	校長名	所在地	電話・FAX番号	児童数	学級数	教員数	養護	栄養	事務	
名寄小学校	寺口 悟	西1条南1丁目2番地	01654-3-3304 01654-3-3305	特学	13	5	6			
				普通	241	10	19	1	1	1
名寄南小学校	小西 信輝	西6条南12丁目55番地2	01654-2-4164 01654-2-4165	特学	10	4	6			
				普通	362	12	20	1		1
名寄東小学校	金子 謙治	東3条南3丁目11番地	01654-2-2041 01654-2-4179	特学	9	3	5			
				普通	159	7	12	1		1
名寄西小学校	室 篤宏	西7条南1丁目18番地	01654-2-4177 01654-2-4178	特学	13	5	6			
				普通	239	9	16	1		1
中名寄小学校	鷹合 勇	字日彰285番地	01654-2-3889 01654-9-5640	特学	2	1	1			
				普通	21	3	5	1		1
智恵文小学校	田村 啓一	字智恵文12線南3番地	01654-8-2241 01654-9-3550	特学	2	2	2			
				普通	27	4	7	1		1
豊西小学校	塚澤 栄一	西15条南4丁目14番地2	01654-3-4573 01654-3-3973	特学	5	3	4			
				普通	204	6	21	1		1
風連日進小学校	牧野 裕三	風連町字日進3141番地	01655-2-6036 01655-2-6711	特学	1	1				
				普通	7	3	6			
東風連小学校	韭澤美智子	風連町字東風連3396番地	01655-3-3367 01655-3-3397	特学	1	1				
				普通	14	3	5	1		1
風連下多寄小学校	上村 亮	風連町字瑞生1558番地	01655-3-3932 01655-3-3940	特学	1	1				
				普通	8	3	5	1		1
風連中央小学校	染木 圭男	風連町西町201番地	01655-3-2031 01655-3-2569	特学	6	4	5			
				普通	129	6	11	1	1	1
小学校 11校 計				特学	63	30	35			
				普通	1411	66	124	10	2	10

2 市内中学校一覧

(平成24年5月1日現在) ※ 教員数等には休職者を含む

学校名	校長名	所在地	電話・FAX番号	生徒数	学級数	教員数	養護	事務	
名寄中学校	狩野 博	字豊栄101番地1	01654-2-2147 01654-2-2148	特学	6	2	3		
				普通	256	9	17	1	1
名寄東中学校	松井 清隆	西2条北8丁目1番地3	01654-2-3174 01654-2-3175	特学	4	3	4		
				普通	300	9	20	1	1
智恵文中学校	土肥 哲哉	字智恵文11線北2番地	01654-9-3010 01654-9-3011	特学	2	2	2		
				普通	10	2	6	1	1
風連中学校	東 文夫	風連町新生町167番地1	01655-3-2026 01655-3-2266	特学	4	3	4		
				普通	106	3	10	1	1
風連日進中学校		休 校							
中学校 4校 (1校休校) 計				特学	16	10	13		
				普通	672	23	53	5	4

※小・中学校とも電話・FAX番号欄は上段が電話番号、下段がFAX番号

3 小中学校児童生徒数の推移

(1) 小学校

年次	区分	学校数	1年	2年	3年	4年	5年	6年	児童数
平成22年度	風連地区	4	22	40	35	27	36	37	197
	名寄地区	7	236	249	232	213	180	228	1,338
	計	11	258	289	267	240	216	265	1,535
平成23年度	風連地区	4	24	22	39	31	28	34	178
	名寄地区	7	217	226	239	232	208	180	1,302
	計	11	241	248	278	263	236	214	1,480
平成24年度	風連地区	4	27	24	22	38	30	26	167
	名寄地区	7	201	221	220	237	223	205	1,307
	計	11	228	245	242	275	253	231	1,474

(2) 中学校

年次	区分	学校数	1年	2年	3年	生徒数
平成22年度	風連地区	2	41	39	33	113
	名寄地区	3	199	205	227	631
	計	5	240	244	260	744
平成23年度	風連地区	1	37	41	39	117
	名寄地区	3	221	197	206	624
	計	4	258	238	245	741
平成24年度	風連地区	1	33	36	41	110
	名寄地区	3	167	214	197	578
	計	4	200	250	238	688

4 中学校卒業生の進路状況

年次	区分	卒業生数	進学者		就職者		その他	
			人数	率(%)	人数	率(%)	人数	率(%)
平成22年 3月	風連地区	43	43	100.0				
	名寄地区	219	217	99.1			2	0.9
	計	262	260	99.2			2	0.8
平成23年 3月	風連地区	33	33	100.0				
	名寄地区	226	224	99.1			2	0.9
	計	259	257	99.2			2	0.8
平成24年 3月	風連地区	39	39	100.0				
	名寄地区	206	205	99.5			1	0.4
	計	245	244	99.5			1	0.4

3 幼稚園教育

本市には、私立幼稚園が5園あり、それぞれの園において幼稚園教育要領に基づき教育課程を編成し、特色ある教育活動を行っています。市はこれまで幼児教育の振興と幼稚園経営の充実・安定のため助成・支援を行っています。

また、小学校との日常的な連携を密にし、小学校教育への円滑な接続・移行が図られるよう努めます。

1 名寄市内の幼稚園（いずれも私立幼稚園）

(平成24年5月1日現在)

幼稚園名	住 所	電 話	代表者	設立年月日	就園状況			合 計
					3歳児	4歳児	5歳児	
学校法人 山崎学園 光名幼稚園	西2条南10丁目 1番地	01654- 2-4741	園長 山崎 博信	S33.6.10	21	33	42	96
学校法人 北海道キリスト教学園 名寄幼稚園	大通南2丁目14 番地	01654- 3-0280	園長 中川 貞恵	S25.9.1	44	25	25	94
学校法人 寄大谷学園 名寄大谷認定こども園 名寄大谷幼稚園	西5条南2丁目 10番地	01654- 2-2668	園長 白井 慶子	S33.5.6	35	35	51	121
学校法人 旭川カトリック学園 名寄カトリック幼稚園	西3条南4丁目 17番地	01654- 2-2632	園長 長尾 俊宏	S25.9.13	25	29	39	93
学校法人 風連学園 風連幼稚園	風連町西町284 番地	01655- 3-2133	園長 加藤 紀子	S29.5.10	11	14	26	51

2 幼稚園教育振興事業

- ・私立幼稚園振興補助（幼稚園経営の助成）
- ・幼稚園就園奨励費補助（入園料及び保育料の助成）

※ 平成22年度より幼稚園教育振興事業の担当窓口がこども未来課に変更となりました。

4 学校給食センター

1 施設の概要等

- ・名 称 名寄市学校給食センター
TEL 01654-2-4307 (FAX 2-4308)
- ・位 置 〒096-0035
北海道名寄市西5条北10丁目54番地6
- ・開設年月 平成3年12月改築 (平成4年4月供給開始)
- ・改修工事 平成18年12月 (風連町合併に伴う改修工事)
- ・敷地面積 3,257.75㎡
- ・建物面積 997.163㎡ (建築基準法1,104.789㎡)
- ・構 造 鉄筋コンクリート造一部2階建
- ・排水処理施設 80㎡ (回転円板方式)



2 名寄市学校給食センターの概要

名寄の学校給食は、戦後混乱期の昭和22年(1947年)に名寄小学校で始まりました。

この給食は、父母が食材を持ち寄って行われたボランティアによるものであったと記録に残っております。

本格的に学校給食が開始したのは昭和41年(1966年)になってからであり、現名寄小学校の敷地に学校給食センターが開設され各小中学校に給食が提供されるようになりました。

当時は児童生徒数も多く、1日約6,300食を供給しておりました。

その後、このセンターは26年間使用いたしましたが施設の老朽化に伴い、平成4年1月より最新設備の整った現在の学校給食センターに移転し、今に至っております。

3 名寄市の学校給食の沿革

昭和22年	名寄小学校で学校給食開始
昭和23年	名寄南小学校で学校給食開始
昭和40年9月	センター建設着工（名寄市西1条南1丁目）
昭和40年12月	センター完成（鉄筋ブロック造一部2階建・470.55㎡）
昭和41年4月	センター方式で全小中学校へ学校給食開始（6,254食）
昭和45年8月	食缶・食器の配送を廃止し、パック方式に。
昭和49年6月	使い捨て容器を廃止し、回収食器に。
昭和52年9月	米飯給食開始
昭和61年6月	パック方式を廃止し、食缶方式に。
昭和63年1月	もち給食開始
昭和63年4月	赤飯給食開始
平成3年5月	現センター建設着工
平成3年12月	現センター完成
平成4年1月	供給開始
平成5年4月	アレルギー給食開始
平成6年5月	会食型高齢者給食開始（随時）
平成7年7月	宅配型高齢者給食開始（毎週 金曜日）
平成9年5月	サテライト型デイサービス給食開始（毎週 月・水・金曜日）
平成15年2月	国体給食
平成18年12月	風連町・名寄市合併に伴う改修工事
平成19年2月	学校給食センターの部分的民営化に向けて検討
平成19年4月	風連町・名寄市合併に伴う学校給食センターの統合
平成19年4月	会食型・宅配型高齢給食の民営化
平成19年5月	風連町・名寄市合併に伴う学校給食会の統合
平成21年4月	名寄市学校給食用食材供給施設（旧風連学校給食センター）供用開始

4 学校給食センターの状況

◆平成24年度事業計画

小中学校	小学校11校 1,474名+教185名	315,210食/年
全校2,422名（内教員260名）	中学校4校 688名+教75名	144,970食/年
保育所（僻地）、試食等		23,348食/年
年間稼働日数（208日）		483,528食/年
1日当たり		2,325食/日

◆平成24年度学校給食センター稼働日 208日

1学期	4月5日～7月25日	76日間
2学期	8月20日～12月21日	86日間
3学期	1月16日～3月22日	46日間
合 計		208日間

◆給食費

		一食単価	H 19 年 度 改 正
小 学 校	低学年（1・2年生）	231円	
	中学年（3・4年生）	233円	
	高学年（5・6年生）	235円	
中 学 校		275円	

◆給食の内容

米 飯	週3.5回
パ ン	週0.5回（2週間に1回）
麵 類	週 1回

◆職員構成

(35名)

(平成24年4月1日現在)

市職員			道職員	嘱託職員		臨時職員	
所長	総務係長	調理師	栄養士	配送・ボイラー	栄養士	調理職員	調理パート
1	1	0	2	5	2	2	22

◆特色

- (1) 平成5年4月より、食物アレルギーを持つ児童・生徒が健康な生活を営めるよう、家庭の食事療法に協力するという立場でアレルギー給食を実施しています。
 - ・アレルギー給食（平成24年5月1日現在30名の児童生徒へ供給）
 - 小学校（児童） 26名
 - 中学校（生徒） 4名
- (2) 米飯、魚を基本にした日本型給食です。使用する食材料は地場産のものを活用することで安全性を図りながら、栄養バランスにも配慮した献立メニューを専門の栄養士が立案します。
- (3) 季節の行事食を提供しています。（各節句かしわもち・さくらもち、大好きパン、ケーキ等）学校給食の献立に地域の郷土料理や伝統料理を取り入れることは、国や地域の伝統文化を継承していくための関心や意欲を高める上で大きな教育効果が期待できます。
- (4) 地場産品の活用

地場産業の育成に繋がるということで、地場産食材を積極的に取り入れています。

地元米粉・もち米粉を使用したパンの提供も行い、地場産米の消費拡大を図っています。

自然との関わり、大地の恵み、地場産業に携わる人々を思い起こしてもらえればと考えております。

学校給食において地場産物を使用することにより、児童生徒が学校給食の食材を「生きた教材」として、地場産物の活用の意味や地域の産業、働く人々について理解するとともに、地域社会に対する誇りや愛情を育てることができます。

5 名寄市立大学

名寄市立大学短期大学部

1 名寄市立大学・名寄市立大学短期大学部が目指すもの

- ◎「保健・医療・福祉の分野で幅広く活躍する職業人の養成」
- ◎「地域の生涯学習の拠点となる高等教育機関」
- ◎「地域貢献機能を強く持った地域社会から信頼される大学」

2 名寄市立大学・名寄市立大学短期大学の理念

- ◎「保健・医療・福祉の連携と協働」
- ◎「少人数教育の実践」
- ◎「地域社会の教育的活用と地域貢献」

(1) 名寄市立大学

- ①保健・医療・福祉の各領域を幅広く理解し、他職種との連携・協働に力を発揮する人材の育成。
- ②学生個々の関心・志向と学習プロセスに配慮した少人数教育を基礎に「ひと」への支援サービスを実践できる人材を育む。
- ③地域社会を積極的に活用する教育活動と保健・医療・福祉に関わる地域的課題の解決に向けた研究活動、また、地域で実践に携わる人材に対する教育活動を通じ地域社会に貢献する。

(2) 名寄市立大学短期大学部

- ①児童福祉サービス及び幼児教育の展開に貢献できる優れた能力を有する人材の育成。
- ②豊かな個性と人間性、他者への共感と自主・自立の気概、的確な判断力と実行力などを備えた「ひと」への支援を実践できる人材を育む。
- ③地域社会を積極的に活用する教育活動と児童福祉や幼児教育に係わる地域的課題の解決に向けた研究活動や地域で実践に携わる人材の卒業教育活動を通して地域に貢献する。

3 名寄市立大学・名寄市立大学短期大学部の現況

(1) 学生の在籍状況 (単位：人)

(平成24年5月1日現在)

学科等 学年	保健福祉学部											短期大学部			合計			
	栄養学科			看護学科			社会福祉学科			学部計			児童学科					
	男	女	小計	男	女	計	男	女	小計	男	女	計	男	女	小計	男	女	計
1年	4	34	38	7	46	53	15	34	49	26	114	140	1	52	53			
2年	3	39	42	2	50	52	15	38	53	20	127	147	2	55	57			
3年	2	40	42	9	45	54	22	34	56	33	119	152						
4年	5	38	43	8	47	55	19	37	56	32	122	154						
計	14	151	165	26	188	214	71	143	214	111	482	593	3	107	110	114	589	703

(2) 教員組織 (単位：人) (平成24年5月1日現在)

保健福祉学部	学科名	学長	専任教員数					助手	専任教員1人当たり学生数
			教授	准教授	講師	助教	計		
	栄養学科	1	7	4	1	5	17	0	9.7人
	看護学科		5	4	5	4	18	1	11.9人
	社会福祉学科		7	7	1	1	16	0	13.4人
	教養教育部		4	3	1	0	8	0	—
	小計	1	23	18	8	10	59	1	10.1人
短大部	児童学科	1(兼)	4	1	2	0	7	0	15.7人
	小計	1(兼)	4	1	2	0	7	0	—
合計		1	27	19	10	10	66	1	

(3) 事務組織 (単位：人) (平成24年5月1日現在)

事務局長	課	課長	係長	係	嘱託	事務補助	計
1	総務課	1	1	3	9	1	2
	教務課	1	2	4	—	—	—
	学生課	(1)	2	—	2	—	—
1		2	5	7	11	3	29

(4) 平成24年度入試結果 (単位：人) (平成24年5月1日現在)

保健福祉学部	入試区分	栄養学科 (入学定員40人)					看護学科 (入学定員50人)					社会福祉学科 (入学定員50人)				
		募集人員	志願者数	受験者数 A	合格者数 B	倍率 A/B	募集人員	志願者数	受験者数 A	合格者数 B	倍率 A/B	募集人員	志願者数	受験者数 A	合格者数 B	倍率 A/B
	推薦	15	44	44	15	2.9	20	59	58	21	2.8	20	20	20	16	1.3
	社会人	若干名	0	0	0	—	若干名	8	7	0	—	若干名	0	0	0	—
	一般前期	21	74	64	27	2.4	25	109	85	33	2.6	25	60	49	40	1.2
	一般後期	4	68	22	5	4.4	5	76	19	5	3.8	5	59	9	8	1.1

短期大学部	入試区分	児童学科 (入学定員50人)				
		募集人員	志願者数	受験者数 A	合格者数 B	倍率 A/B
	推薦	25	53	53	25	2.1
	社会人	若干名	1	1	1	1.0
	一般	20	57	56	28	2.0
	センター利用	5	30	30	8	3.8

(5) 平成23年度卒業者の就職進学等状況 (単位：人) (平成24年5月1日)

	卒業者数	就職決定者数		就職率	進学者数	その他	備考	
		市内	道内					
保健福祉学部	栄養学科	37	3	91.2%	1	3		
		25						
		5						
		33						
看護学科	53	4	33	96.2%	1	2	看護師就業 39人(市内 4人) 保健師就業 10人(市内 0人)	
		33						
		13						
		50						
社会福祉学科	55	3	26	85.2%	1	8		
		26						
		17						
		46						
短期大学部	児童学科	56	2	100.0%	2	2	保育士就業 37人 幼稚園教諭就業 10人	
		48						
		2						
		52						
合計		201	181		5	15		

(6) 平成23年度卒業者の国家資格取得状況 (単位：人)

学科名	国家資格	受験者数	合格者数	合格率(%)	全国新卒合格率(%)
栄養学科	管理栄養士	37	32	86.5%	91.6%
看護学科	看護師	53	51	96.2%	97.3%
	保健師	53	50	94.3%	89.7%
社会福祉学科	社会福祉士	54	23	42.6%	38.5%

(7) 平成23年度卒業者の教員免許取得状況 (単位：人)

保健福祉学部	中学校教諭1種	社会	10
	高等学校教諭1種	公民	14
		福祉	12
	特別支援学校教諭	知的・肢体不自由・病弱	15
	栄養教諭1種		11
短期大学部	幼稚園教諭2種		55

4 図書館の概要

(1) 施設の概要

区分	面積	閲覧席数	収納可能冊数
図書館本館(本館1F)	449m ²	120席	約80,000冊
図書館分館(恵陵館2F)	189m ²		

(2) 図書、学術雑誌、視聴覚資料、電子情報等の整備状況

表1-1 蔵書数

(単位：冊)

年度	本館		分館		総和書数	総洋書数	総蔵書数
	和書	洋書	和書	洋書			
2010	52,887	1,719	23,627	693	76,514	2,412	78,926
2011	54,494	1,987	26,164	1,109	80,658	3,096	83,754

表1-2 逐次刊行物

(単位：冊)

年度	和雑誌						洋雑誌					雑誌総数
	栄養	看護	社会福祉	児童	共通	総数	栄養	看護	社福児童	共通	総数	
2010	16	71	36	15	26	164	15	7	0	0	22	186
2011	16	72	36	16	25	165	15	7	0	0	22	187

表1-3 視聴覚資料数

年度	CD	DVD	ビデオ	カセットテープ	紙芝居	CD-ROM	総数
2010	104	273	816	15	79	41	1,328
2011	104	319	816	15	79	41	1,374

表1-4 電子ジャーナル・データベース利用 (2012年3月31日現在)

(単位：ダウンロード数)

メディカルオンライン	CiNii		医中誌		聞蔵II	EBSCO Academic Search	
	DL数	アクセス数	検索数	アクセス数	検索数	アクセス数	検索数
322	5,007	50,590	3,381	12,881	277	409	1,428

表1-5 図書受入 (2012年3月31日現在) (単位:冊)

種類	図書	雑誌
冊数・誌数	2,043(1,741)	193(192)
全国平均	2,340(2,383)	246(252)

※平均は、平成22年度学術情報基盤実態調査-単科公立大学 (括弧内は前年度のデータ)

(3) 図書館利用状況

表2-1 図書貸出状況 (2012年3月31日現在)

	貸出冊数		貸出人数	
	冊	冊/日	人	人/日
総計	14,520	66.1	6,443	29.4
	(13,927)	(58)	(5,880)	(25)
学生	12,470	51.7	5,707	23.7
	(11,886)	(50)	(5,179)	(22)
教職員	1,369	5.7	464	1.9
	(1,470)	(6)	(527)	(2)
学外者	663	2.8	261	1.1
	(371)	(2)	(163)	(1)
団体等	18	0.1	11	0.05
	(200)	(2)	(11)	(0)

※括弧内は前年度のデータ (開館日数 241日)

表2-2 学科別貸出状況 (2012年3月31日現在)

	貸出冊数		貸出人数	
	冊	冊/日	人	人/日
栄養	3,085	12.8	1,501	6.2
	(2,872)	(12)	(1,290)	(5)
看護	5,086	21.1	2,378	9.9
	(5,253)	(22)	(2,281)	(10)
社会福祉	3,093	12.8	1,351	5.6
	(3,092)	(13)	(1,290)	(5)
児童	1,206	5	476	2
	(669)	(3)	(318)	(1)

※括弧内は昨年度のデータ

5 施設の概要

施設	摘要	面積
校地等	校舎敷地	42,400㎡
	運動場(グラウンド)	29,633㎡
	計	72,073㎡
校舎	本館(看護学科・児童学科・図書館)	RC造 3階建(一部2階建) 8,652㎡
	新館(管理・情報処理・栄養実習室)	RC造 3階建(一部2階建) 3,712㎡
	恵陵館(社会福祉学科・栄養学科)	RC造 3階建 6,932㎡
体育館等	①体育館(本館)②多目的ホール(恵陵館)	鉄骨造 平屋建 2,229㎡
学生会館	学生食堂・サークル室・同窓会室等	RC造 2階建 511㎡
学生寮	収容定員39人	RC造 3階建 1,090㎡

6 主な地域との連携交流事業等の状況（平成23年度）

（1）公開講座等の実施状況

①平成23年度名寄市立大学教育職員免許法認定公開講座（有料）

- 開 講 目 的 教職員免許法に基づく特別支援学校教諭免許状取得のための短期講座（知的障害、肢体不自由障害）
- 対 象 在職3年以上の現職教員等
- 実 施 期 間 平成23年7月31日～8月6日
- 受 講 者 69名

②名寄市立大学看護セミナー市民公開講座

- 開 催 月 日 平成23年10月15日
- 基 調 講 演 「災害は何を語りかけたか」
NPO法人阪神高齢者・障害者支援ネットワーク理事長 黒田裕子氏
- シンポジウム 「災害活動の経験を通して語る～身近なものとして感じるために～」
東日本大震災における被災地支援活動の報告
報告者 陸上自衛隊名寄駐屯地隊員、北海道警察旭川方面本部警察官
名寄市立総合病院医師・看護師、名寄消防署消防士のみなさん
- 参 加 者 約80名

③道北地域研究所 地域シンポジウム

- 開 催 趣 旨 北星信用金庫との共催による産学連携地域シンポジウム
テーマ「地域資源の掘り起こしと産業化の取り組み～第6次産業化による地域の活性化を目指して～」
- 開 催 月 日 平成23年7月18日
- 開 催 会 場 グランドホテル藤花
- 基 調 講 演 「薬用植物の寒冷地栽培の確立をめざして」
前薬用植物資源研究センター北海道研究部 柴田利郎氏
- パネラー報告 *ハトムギ「北のはと」の栽培と利活用の現状について
国産生薬株代表取締役 白井清太氏
*地域資源を活用した新しいブランドづくりをめざして
名寄商工会議所事務局次長 井上幸人氏
*高オレイン酸ひまわり栽培と地域の産業化について
名寄市立大学道北地域研究所研究員 木村洋司氏
- パネルディスカッション
コーディネーター 北海道大学大学院農学研究科教授 飯澤理一郎氏
- 参 加 者 数 約130人

④道北地域研究所市民公開講座

- 統 一 テ ー マ 「安全・安心なまちづくり」
- 実 施 内 容 平成23年11月7日
第1回「までい」なまちづくりの力～福島県飯館村に学ぶ～
講演 福島大学行政政策学類教授 千葉悦子氏
平成23年11月30日
第2回「森に生きて」
講演 森の子どもの村主宰者 徳村 彰氏・徳村杜紀子氏
平成23年12月5日
第3回「持続可能なまちづくりをめざして～自然とどう向き合うか～」
講演 北海道大学名誉教授 小野有五氏

⑤名寄市立大学短期大学部こどもセミナー

- テーマ 「子どもの人権を保障する～一人ひとりを大切にするために～」
- 開催日 平成24年1月14日・15日
- 基調講演 「一人ひとりが大切にされる保育」
東京都市大学客員教授 ジャーナリスト・翻訳家 猪熊弘子氏
- シンポジウム 「子どもの人権を保障する」
報告者 旭川のびろ保育園主任保育士 奥 亜由美氏
学校法人旭川報恩学園みどり幼稚園園長 小山英明氏
社会福祉法人常德会興正学園園長 秦 直樹氏
名寄市立大学短期大学部講師 傳馬淳一郎氏
- 参加者 約100名

⑥第10回平和・人権・歴史を考える若者たちの国際シンポジウム

- テーマ 「私たちが考える戦場／私たちが想像する戦場」
- 開催月日 平成23年10月29日・30日
- 基調講演 「戦場カメラマンという仕事」
ジャーナリスト 石川文洋氏夫妻
「戦場と動物園」
名寄市立大学特任教授 絵本作家 あべ弘士氏
- シンポジウム 「若者たちが体験した戦場～イラクとアフガニスタンの銃声の中で」
問題提起
NPO法人PEACE ON 代表 ジャーナリスト 相沢泰行氏
- 参加者 約150名

(2) 学生のボランティア・地域との交流活動（地域交流センター報告から）

◎ボランティア活動等

- ①ボランティア登録学生数122名
- ②地域交流・ボランティア依頼件数71件
- ③地域交流・ボランティア参加件数34件
- ④地域交流・ボランティア参加者数延287名
- ⑤主な参加・協力・支援活動
 - *ふれあい広場2011なよろ
 - *ボランティア愛ランドin士別
 - *なよろ健康まつり
 - *病院コンサート・ボランティア
 - *特別支援学級連絡協議会宿泊体験学習

◎学外機関・団体・企業と連携した交流活動等

- ①北都新聞社 連載「名大の時間」
- ②コミュニティFM放送 エフエムなよろ「info名大」

(3) 連携協定（高大連携・地域連携）

- ①名寄高等学校 高大連携事業の推進 大学教員による出張講義等
- ②名寄市教育委員会 特別支援教育に関する共同研究
ティーチングアシスタント（学生）の派遣
- ③北星信用金庫 産学連携事業の推進 各種セミナー等の開催支援

6 就学の助成

1 就学援助

経済的理由によって就学困難と認められる児童生徒の保護者に対して、その就学に必要な援助を行います。

(1) 平成24年度就学援助費の内訳（ただし、※は平成23年度実績の平均支給額）

区 分		小学校	中学校	支 給 内 容
新入学児童生徒 学用品費等	1年	円 15,900	円 18,300	小学校又は中学校に入学する児童生徒が通常必要とする学用品及び通学用品
学用品費	1～6年	8,900	—	各教科及び特別活動の学習に必要なとされる学用品
	1～3年	—	17,400	
通学用品費	2～6年	1,700	—	通学用靴、雨傘等の通学用品に関わる経費
	2～3年	—	1,700	
体育実技用具費	スキー	※25,418	※ 34,972	体育授業の参加に必要な体育実技用具
	柔道着	—	3,990	
宿泊校外活動費		※ 0	※ 3,486	学校行事として宿泊を伴う校外活動に参加するために必要な交通費及び見学科料などの経費
修学旅行費		※ 21,737	※ 52,173	修学旅行に必要な交通費、宿泊費、見学科料などの経費
学校給食費	1～6年	※ 44,802	—	学校給食に要する食費の金額
	1～3年	—	※ 49,642	
医 療 費		※ 7,133	※ 8,329	伝染病又は学習に影響のある疾病（学校病）にかかり、学校から治療の指示を受けた場合、その治療に要する費用（※学校病とは、トラコーマ及び結膜炎、白せん、疥せん及び濃痂湿疹、中耳炎、慢性鼻腔炎及びアデノサイド、う歯、寄生虫をいう。）

(2) 平成21・22・23年度就学援助の状況

(単位：千円)

区 分		平成21年度	平成22年度	平成23年度
小学校	249	250	249	248
	17,568	17,405	17,568	17,196
中学校	152	145	152	167
	15,253	14,652	15,253	17,472
計	401	395	401	415
	32,821	32,057	32,821	34,668

2 特別支援教育就学奨励費

小学校及び中学校の特別支援学級に在籍し、就学援助の対象とならない児童生徒の保護者の経済的負担を軽減するための援助を行うことにより、特別支援教育の振興を図ります。

(1) 平成24年度就学奨励費の内訳（ただし、※は平成23年度実績の平均支給額）

区 分		小 学 校	中 学 校
新入学児童生徒 学用品費等	1年	円 9,950	円 11,450
学用品費等購入費	2～6年	5,550	—
	2～3年	—	10,850
体育実技用具費	スキー	12,650	18,150
	柔道	—	3,650
宿泊校外活動費		—	※ 1,987
修学旅行費		※ 11,382	※ 25,776
学校給食費	1～6年	※ 21,774	—
	1～3年	—	※ 25,045
通学費	通級指導 教室	※ 1,355	—
	特別支援 学級	※ 12,159	※ 10,537

(2) 平成21・22・23年度特別支援教育就学奨励費の状況

(単位：千円)

区 分		平成21年度	平成22年度	平成23年度
小学校	24	36	24	42
	803	1,356	803	871
中学校	10	10	10	8
	513	570	513	201
計	34	46	34	50
	1,316	1,926	1,316	1,072

3 育英資金利子補給制度

名寄市では、学業成績が優秀であって経済的に就学が困難な学生及び生徒に対して、他機関から貸付けを受けた奨学金並びに修学資金にかかる利子の一部を補給する制度を次により実施しています。

(1) 奨学生の資格

- ① 親又はこれに代わるべき者が名寄市民であること。
- ② 大学院、大学、専修学校（専門課程）、各種学校、高等専門学校及び高等学校に在学していること。
- ③ 学業成績優秀、性行善良であること。
- ④ 学資の支弁が困難であること。

(2) 対象者

上記の資格を有した者で、独立行政法人日本学生支援機構奨学生として有利子奨学金の貸付けを受けた者又は㈱日本政策金融公庫の修学資金、民間金融機関等の修学制度資金の貸付けを受けた者。

(3) 申込期間 毎年10月末日まで

(4) 利子補給額

下記基準額（貸付けを受けた額が基準額に満たない場合は、貸付けを受けた額）に対し、

- ① 独立行政法人日本学生支援機構奨学生・・・基準額にその貸付利率を乗じて得た額
- ② 上記以外・・・所得金額によって、基準額に利率3%を限度として補給。

※利子補給基準額：月額

区 分	補給基準額（月額）
大 学 ・ 大 学 院	40,000円
専 門 学 校	30,000円
高 等 専 門 学 校	15,000円
高 等 学 校	10,000円

4 育英金貸付事業（風連地区特例区事業）

合併に伴い、平成18年度から5年間の特例区事業として、要件を満たす者に対し教育資金の貸付制度（無利子）を実施していましたが、平成22年度をもって終了しました。

貸付けを行った育英金については、今後も引続き返還していただきます。

7 各種助成制度（学校教育課所管）

1 名寄市教育振興補助事業

名寄市における文化・スポーツの振興を図るため、名寄市教育振興基金を活用し、全道・全国大会に出場する小中学校児童生徒及び全国大会に出場する高等学校生徒に対し、大会出場に要する費用の一部を助成します。

平成21・22・23年度事業の実績

(単位：千円)

	平成21年度	平成22年度	平成23年度
申請事業数	33	38	35
補助金交付額	2,085	2,313	2,535
うち小学生	346	637	570
うち中学生	1,720	1,631	1,844
うち高校生	19	45	121

2 特色ある教育活動助成金交付事業

市内児童生徒の健全育成を目的として、特色ある教育活動を行う者に対し、その活動に要する費用の一部を助成します。

平成21・22・23年度事業の実績

(単位：千円)

	平成21年度	平成22年度	平成23年度
申請事業数	8	4	4
補助金交付額	242	81	95
うち小学生	192	31	45
うち中学生	0	0	0
うち高校生	0	0	0
うちその他	50	50	50

8 名寄市教育研究所

平成24年度運営計画

1 研究主題

「心豊かに、たくましく生きぬく児童生徒の育成」

2 研究主題設定の理由

上川管内教育研究所は、研究テーマ「北国に生き、未来を切り拓く子どもの育成 ～心豊かにたくましく生きる力をはぐくむ『上川の教育』の創造～」から、郷土を愛し地域に根ざした教育の実現を目指している。

名寄市教育研究所は、研究主題を「心豊かにたくましく生きぬく児童生徒の育成」と設定し各種事業や研修活動に取り組んできた。本年度も7年目の継続研究主題として設定し、その達成に向けた一層の研究推進が必要と考える。小学校では昨年度から、中学校では本年度から全面实施された新学習指導要領では、「生きる力」という理念を継承し、それを支える「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」の調和を重視し、知識・技能の習得と活用力の育成を図るとともに、伝統と文化に関する教育や道徳教育、体験活動の充実等が求められている。

これらを踏まえ、名寄市教育目標（①北国の風土に生き たくましく成長する人 ②自ら学び 創造的に生きる人 ③ふれあいを大切にし 心豊かな人 ④勤労と責任を尊び よりよい社会を築く人 ⑤新しい時代を切り拓き 郷土の発展に尽くす人）にも照らし合わせ、名寄市の風土と歴史のもとに培われた文化・芸術を大切に、郷土を愛する知性と感性に満ちた他を思いやる「心豊かに、たくましく生きぬく児童生徒の育成」に向け、今年度も研究活動を推進する。

3 運営の基本方針

- (1) 研究主題の解明にあたっては、テーマと結びつく具体的な研究を実践できるように努める。
- (2) 名寄市教育研究所の事業、研究実践の推進に努める。
- (3) 上川管内教育研究会、上川教育研修センター等と連携し、研究推進体制の充実に努める。
- (4) 授業公開による研究交流や日常の実践的な交流、外部講師・外部施設等の活用によって、活発な研修の実施に努める。
- (5) 小中連携に努め、課題や情報の発信の場となるように努める。
- (6) 全研連、道研連等の関係機関の動向に留意し、連携が深まるように努める。

4 事業

- (1) 所報（名寄市教育・研究紀要含む）の発行
 - ・年3回発行（6月、11月、3月）
- (2) 名寄市教育研究大会の開催
 - ・目的：名寄市教育研究所研究主題の課題解決のために研究委託校の研究実践を助成し、成果の交流深化を図り、名寄市教育の推進向上に努める。
 - ・平成24年度研究委託校：名寄小、名寄中
 - 研究委託校は、授業研究会を開催し、実践の成果を公開する。
- (3) 研究班一斉研修日の開催
 - ・年3回開催（4月、6月、8月）
 - ・まとめの一斉研修日は設定せず、各班ごとの方法で工夫してまとめを行う。
- (4) 名寄市教育研究発表集会の開催
 - ・講演と専門委員会・調査研究部の発表
- (5) 上川管内教育研究会北部地区研究大会への参加・協力
 - ・平成24年10月3日（水）開催
- (6) 調査研究活動の実施
 - ・名寄市の教育課題や今日の教育課題について調査・分析を行い資料等にまとめる。
 - ・名寄市教育改善プロジェクト委員会との連携

- (7) 名寄市小中学校音楽発表会の開催
 - ・平成24年9月26日（水）開催（会場：名寄中）
- (8) 各種児童生徒作品展等の開催・協力
 - ・上教研北部地区Bブロック巡回作品展
 - ・市民文化祭小中学校児童生徒作品展
 - ・書道紙上作品展
 - ・読書感想文コンクール
- (9) その他
 - ・専門委員会等の活動の実施

5 事業推進の基本方針

名寄市教育研究所は、本来、北海道教育研究所連盟（道研連）に所属するが、上川管内の市町村教育研究会で構成されている上川管内教育研究会（上教研）との連携を図りながら事業を推進しているのが実態である。そのため「名寄市教育研究所」は、「道研連」と「上教研」との二面性をもっているものの「名寄市教育研究所条例」のもと、名寄市の教育発展のために、各種の提言、事業、教育実践活動等を行っている。そのことを基本におさえる必要がある。

名寄市の教育推進のために、名寄市教育研究所の果たす役割は重要であり、さらに活性化を図っていく必要がある。

(1) 総務部

- ① 各部・事業の連絡調整
 - ・各種事業の企画・運営について主幹する各部と連携を図りながら円滑な運営に努める。
- ② 関係団体との連携
 - ・道研連、上教研などの関係団体との連携協力を推進し、幅広い情報収集に努める。
- ③ 所報の発行
 - ・年3回の所報の発行により、研究体制や研究内容・活動内容等の情報の共有化を図る。
- ④ 会計業務
 - ・適正で効果的な執行に努める。
 - ・各部の業務が効果的に推進できるよう工夫して執行する。

(2) 調査研究部

名寄市の教育課題や今日的教育課題について調査研究を実施し、集計結果・分析・課題解決の方策等を報告する。

(3) 教育研究部

- ① 研究班活動
 - ・名寄市教育研究所研究主題に基づき、課題解明のための実践研究を推進する。
 - ・下川町教育研究会の研究班と連携し、研究の深化を図る。
 - ・外部人材、施設を有効に活用し、情報収集や交流を図る。
- ② 名寄市小中学校音楽発表会
 - ・各校の音楽教育の成果を児童生徒による音楽発表を通して広く一般市民に公開し、音楽に対する理解を深め、豊かな情操を育てる。
- ③ 名寄市教育研究大会 研究委託校制度
 - ・名寄市教育研究所の研究主題解決のために、研究委託校制度を設け、研究実践を助成し、名寄市教育研究大会での公開授業、研究討議を通して名寄市の教育推進の向上・発展に努める。
- ④ 名寄市教育研究発表集会
 - ・教育の今日的課題をふまえた講演と専門委員会及び調査研究部の調査報告の2点に焦点化して研修を深める。（上記に伴い、各班の成果発表は、研究紀要「名寄市教育」に掲載し、誌面報告とする。）
- ⑤ 各種児童生徒作品展等の開催・協力
 - ・作品等の出品、審査などにより、各校の交流を図り、技術の向上とともに豊かな情操を養う。

(4) その他

必要に応じて専門委員会を設置し、その専門性に基づき、調査報告、提言などを行う。

9 その他学校一覧

(平成24年5月1日現在)

	学 校 名	校長名	課 程	学級数	生徒数	所在地	電 話 (F A X)
高 等 学 校	道立	名 寄 高 等 学 校	千原 治	普 通 科	12	456	徳田204-1 (事務室TEL・FAX) 3-6841 (職員室TEL) 3-6842
				計	12	456	
	道立	名 寄 産 業 高 等 学 校 (光凌キャンパス)	田邊 幸次	電 子 機 械 科	3	102	西 5 北 5 (事務室TEL・FAX) 2-3066 (職員室TEL) 2-3067
				建 築 シ ス テ ム 科	3	67	
				生 活 文 化 科	3	105	
	道立	名 寄 産 業 高 等 学 校 (名農キャンパス)		酪 農 科 学 科	3	53	緑 丘 3 - 3 (TEL) 2-4191 (FAX) 2-4192
				計	12	327	
各 種 学 校	私立	上 川 北 部 医 師 会 附 属 准 看 護 学 院	吉田 肇	准 看 護 師 科	2	41	西 5 北 2 (TEL) 2-5311 (FAX) 2-5621
				計	2	41	

1 平成 24 年度 名寄市社会教育推進の重点

生涯学習とは、一人ひとりが自分に適した方法で、生涯を通じて自発的に行う学習のことであり、幅の広いものです。このように主体的に始めた学習活動によって、個々が豊かになり、その個人が集まって社会に還元することにより社会が豊かになっていく、これが生涯学習型社会です。

都市基盤が整備されても、そこに生活する人々が人生や社会に前向きな関心を持たなければ、まちの発展は期待できません。まちづくりに理念を与えるのは、そこに住む人の未来への希望であり、それは人々が日々元気を保っていられるかにかかっており、その元気を支える一助が生涯学習活動です。

社会教育行政は、このような生涯学習を推進するため様々な方法により、市民自らが主体的に活動していくことを支援し、援助する役割を担っています。

教育委員会では、新名寄市総合計画が平成 18 年度に策定されたことを受け、教育・文化・スポーツ分野の基本目標である「心豊かな人と文化を育むまちづくり」を達成するために、平成 19 年度に社会教育中期計画を策定しました。平成 24 年度までの 5 カ年にわたる社会教育推進の基本的な考え方を示した同計画に沿って、生涯学習型社会の基盤をつくる社会教育行政を進めてまいりましたが、今年度までの計画期間となっていることから、今年改めて平成 25 年度から平成 29 年度までの 5 カ年間の社会教育中期計画を策定いたします。

中期計画でも大きな事業として位置づけられた、なよろ市立天文台「きたすばる」が平成 22 年 4 月にオープンし、北海道大学が 1.6m 望遠鏡を設置したことにより昨年 4 月 29 日にグランドオープンいたしました。北海道大学との相互協力協定に基づき学術交流を進め、交流人口の拡大に努めるとともに、天文台を活かした特色あるまちづくりや学校の総合的な学習への取り組みにも貢献できるよう施設の有効活用を図ります。

さらに、老朽化した市民会館大ホールの代替施設として、(仮称)市民ホールを芸術文化の拠点として市民文化センター西側に建設することになりました。今年度は基本設計及び実施設計を行います。パブリックコメントなどを通じ、地域住民による文化振興と創造の場、人材育成の場、交流の場として活用されるよう検討を進めます。

近年、青少年をめぐる様々な問題が発生しており、その背景として「地域の教育力の低下」が指摘されています。また、教員と子どもが向き合う時間を拡充し、教員が子ども一人ひとりに対してきめ細やかな指導をするためには、多忙な教員を支援し、勤務負担の軽減を図ることが求められています。さらには地域住民が社会教育を受けて学んだ成果を子どもの教育に活かしていくことが大切です。市では、従来から高齢者の学習の場である名寄ピヤシリ大学や名寄東小コミュニティカレッジ、風連下多寄小コミュニティスクールで学ぶ方々と小学生が交流を図ったり、小学校区における少年団活動を教員と共に地域の方々が指導する支援活動を展開していますが、地域住民による安心安全の取り組みを推奨し、学校の要請に可能な範囲でボランティアとの橋渡しを行い、ボランティアに対する保険の加入を継続するなど学校支援体制を引き続き進めます。

2 生涯学習課・名寄市公民館の事業計画

I 生涯学習社会の形成

◆文化活動拠点施設整備事業

◇市民文化センターの利用促進

市民文化センターの整備を進め、利用促進を図ります。

【施設概要】

- 1 所在地 名寄市西13条南4丁目2番地 (TEL 01654-2-2218)
- 2 開設年月日 昭和58年8月11日
- 3 主要施設

・多目的ホール	353.2 m ²	・生活研修室 A	30.0 m ²
・大会議室 A	80.0 m ²	・ " B	90.0 m ²
・ " B	80.0 m ²	・調理実習室	104.0 m ²
・小会議室	32.0 m ²	・営農研修室	72.0 m ²
・会議室	48.0 m ²	・視聴覚研修室	108.0 m ²
・市民工芸室	97.6 m ²	・展示ホール	294.8 m ²
- 4 利用案内
 - ・開館時間 午前9時～午後10時
 - ・休館日 毎月末日 (ただし、その日が土・日曜日又は国民の休日にあたる時はその前日)
年末年始 (12月30日～1月5日)



◆生涯学習プログラムの整備と学習への支援

1 趣味、教養、課題解決へ向けた学習活動の促進

(1) 平成24年度市民講座

趣味や教養、実生活での課題を解決するような学習活動の場を市民に提供することで、豊かな人間性と創造性を養い、地域の連帯感を醸成し、健康で安全な住みよい生活の場を主体的につくりあげる学びを支えることを目的に開設します。

(2) ジャックの豆事業（自主的学習グループ・サークル活動促進事業）

市民の自主的な学習グループ・サークル活動を組織化・活性化させるために必要な助成を行い、市民の生涯学習活動を促進します。

2 高齢者学級「名寄ピヤシリ大学」の開設

60歳以上の市民を対象に、一般教養やまちづくりに関する講座、社会見学、奉仕活動、体育祭、遠足、大学祭、クラブ活動、自治会活動など幅広い学習機会を提供します。

(1) 開設期間 4月24日～2月26日（毎月第2・4火曜日を原則として計20回開設）

(2) 公開講座の開設

ピヤシリ大学生、大学院生に加えて広く市民の参加を募るとともに、「道民カレッジ」（北海道教育委員会主催）の連携講座として年5回開設します。

(3) 自由研究・文集の発行

①大学4年生による自由研究

②文集「風雪」の発行

(4) 指導者養成・交流活動

①上川管内高齢者学びのつどいへの参加

②小学生との交流授業の実施

3 生涯学習啓発事業の実施

生涯学習フェスティバルの開催

・地域住民が学び習得している技術や、地域の特色ある諸活動などを紹介し、まちづくりを考え、実践する場として、生涯学習フェスティバルを開催します。

・10月28日（日）

4 公民館分館事業の支援

名寄地区に6分館（中名寄、曙、共和、瑞穂、弥生、日進）を設置し、地域独自の分館事業を支援します。

5 その他の生涯学習事業

(1) 生涯学習情報の提供、相談

(2) 生涯学習リーダーバンク事業

指導者登録制度「生涯学習リーダーバンク」の市民への周知と、指導者の登録促進と活用の推進を図ります。（平成24年5月1日現在登録者数 39名）

6 諸会議・研修会

- | | |
|--------------------|--------------------|
| (1) 社会教育委員の会会議 | 年3回(5月・11月・3月)開催予定 |
| (2) 名寄市公民館運営審議会 | 年2回(5月・2月)開催予定 |
| (3) 名寄市公民館分館長・主事会議 | 年1回開催予定 |

7 関係団体に対する負担金・補助金

- | | |
|-------------------------|------------|
| (1) 上川管内社会教育委員連絡協議会負担金 | 30,000円 |
| (2) 北海道社会教育委員連絡協議会負担金 | 54,000円 |
| (3) 北海道公民館協会上川支部負担金 | 7,000円 |
| (4) 北海道公民館協会負担金 | 52,000円 |
| (5) 名寄市女性団体連絡協議会補助金 | 220,000円 |
| (6) 名寄市PTA連合会補助金 | 300,000円 |
| (7) 名寄東小学校コミュニティ施設運営補助金 | 500,000円 |
| (8) ジャックの豆事業助成金 | 100,000円 |
| (9) 社会教育関係団体活動推進補助金 | 1,200,000円 |

II 家庭教育の推進

◆家庭と地域の教育力の向上

1 家庭教育学級の開設

名寄地区に3学級(幼稚園)開設し、各学級で自主的に学習内容を企画し実施します。

交付金 150,000円(50,000円×3学級)

2 家庭教育支援講座の開設

家庭教育を行ううえで必要な知識・技術の習得を目指した学習機会や、親子のコミュニケーションを深める機会を提供します。

III 生涯スポーツの振興 (P46～ 5 スポーツ振興事業計画に記載)

IV 青少年の健全育成

◆青少年健全育成事業

1 平成24年度野外体験学習事業「へっちゃLAND2012」

小学4年生から中学3年生の児童生徒を対象に、実行委員会を組織して実施します。本年度は南相馬市の子ども達との交流も兼ねて実施します。

実施予定日 7月26日～7月28日(2泊3日)

2 名寄市公民館主催事業

(1) 夏休み子ども写生会

8月7日 浅江島公園(作品展示8月7日～17日 市民文化センター)

(2) 冬休み子ども料理教室

12月22日 市民文化センター

- (3) 第40回新春こども書き初め広場
1月7日（作品展示1月7日～15日、表彰式1月15日） 市民文化センター
- (4) 第27回冬休み児童生徒作品展
2月5日～18日 市民文化センター
- (5) 春休み子ども英語クラブ
3月下旬 市民文化センター

3 名寄市子ども会育成連合会との共催事業

- (1) 「わくわく！体験交流会」
子ども達が様々な体験を通して、自主性や社会性を身に付けるとともに協調性や相手を思いやる心を育てることを目的として実施します。（年4回開催予定）
- (2) 子ども会活動促進事業
スポーツ大会（スポーツ・レクリエーション等交流事業）
実施予定日 11月11日、12月2日

4 学習活動の支援

青少年の学習活動のために用具等を貸し出します。

5 成人式運営事業

実行委員会を組織して式典、交流会を開催します。

- (1) 開催予定日 平成25年1月13日（日）（毎年1月第2日曜日）
- (2) 場 所 グランドホテル藤花

6 指導者養成事業

- (1) 育成指導者研修会
名寄市子ども会育成連合会との共催で開催します。
- (2) 育成指導者交流会
名寄市子ども会育成連合会との共催で、子ども会育成指導者間の親睦と情報交換を目的に実施します。

7 北海道教育委員会・管内関連事業

- (1) 青少年体験活動推進事業
北海道教育委員会が主催する青少年活動リーダー養成事業「ジュニアリーダーコース」への参加を支援します。
- (2) 「少年の主張」上川地区大会
全道大会につながる中学生対象の弁論大会に発表者1名を派遣します。

8 青少年育成団体に対する負担金・補助金

- | | |
|---------------------------|----------|
| (1) 名寄市子ども会育成連合会補助金 | 800,000円 |
| (2) 日本ボーイスカウト名寄第1団運営補助金 | 30,000円 |
| (3) へっちゃんLAND2012実行委員会補助金 | 400,000円 |
| (4) 名寄市成人式実行委員会負担金 | 620,000円 |

V 地域文化の継承と創造

◆芸術文化振興事業

1 文化活動への参加機会と芸術鑑賞機会の充実

(1) 第55回市民文化祭

◇市民が行っている各種文化活動について全市的な規模で発表する場をつくることで、文化活動への参加意欲を高め、地域文化の発展及び市民生活の充実に資することを目的に開催します。

◇具体的には加盟団体をはじめとする各種団体実行委員会を組織し、開催します。

◇芸能発表 11月4日(日) 市民会館大ホール

◇作品展示 11月2日(金)～4日(日) 市民文化センター

(2) 芸術文化鑑賞バスツアー

◇目的：優れた美術作品や公演を鑑賞し、豊かな情操を養い創造意欲を高め、芸術文化推進への意欲を育てる。

◇第1回 6月9日(土)～10日(日) 札幌市 定員33名

札幌コンサートホールk i t a r a 「札幌名曲シリーズ」

北海道立近代美術館 特別展「大原美術館展」観覧

◇第2回 7月3日(火) 上富良野町・中富良野町 定員33名

後藤純男美術館、森のガーデン美術館

◇第3回 8月17日(金) 美深町 定員20名

劇団四季「ガンバの大冒険」観劇

◇第4回 8月23日(木)～24日(金) 帯広市・清水町・中札内村 定員33名

十勝千年の森、帯広百年記念館、中札内美術村、紫竹ガーデン

◇第5回 9月12日(水) 富良野市 定員20名

チーズ工房チーズ作り体験、やまべ美ゆーじあむ ふらび(万華鏡ミュージアム) 観覧

◇第6回 10月18日(木) 予定 旭川市 定員33名

道立旭川美術館～特別展「愛のヴィクトリアン・ジュエリー展」観覧、他

(3) であいの広場作品展示(名寄市・名寄市教育委員会主催・共催事業)

◇写真同好会「北彩」 4月9日～17日

◇小林白炎墨絵詩書作品展 4月25日～5月16日

◇切り絵作品展示会 5月17日～26日

◇花スナップ写真展 8月20日～30日

◇へっちゃLAND写真展 日程未定

◇夏休み子ども写生会作品展 8月7日～17日

◇写真道展巡回展 9月3日～12日

◇高齢者を祝う会 9月14日～18日

◇朔人社美術協会 9月19日～26日

◇素敵写真同好会 9月30日～10月8日

◇一騎展 10月15日～21日

◇ピヤシリ大学祭作品展 10月17日～23日

◇写真集団「翔」写真展 11月6日～15日

- ◇細氷フォト研究会展 11月16日～26日
- ◇こども書き初め広場作品展 1月 7日～15日
- ◇冬休み児童生徒作品展 2月 5日～17日
- ◇小学生による「税の書道展」 日程未定
- ◇上川北部公民館ネットワーク高齢者作品巡回展 日程未定

2 地域活動の拡充と参加促進

市民盆踊り大会を、実行委員会を組織して実施します。

実施予定日 8月14日(火)、15日(水)

3 関係団体に対する負担金・補助金

(1) 名寄市文化協会補助金	360,000円
(2) 市民盆踊り大会実行委員会補助金	200,000円
(3) 名寄太鼓補助金	100,000円
(4) 市民文化祭・生涯学習フェスティバル実行委員会補助金	350,000円
(5) なよろ舞台芸術劇場実行委員会補助金	1,200,000円

3 風連地区生涯学習・風連公民館の事業計画

I 生涯学習社会の形成

◆文化活動拠点整備事業

【施設概要】

1 ふうれん地域交流センター

- (1) 所在地 名寄市風連町本町 62 番地 2 (TEL 01655-3-2531)
- (2) 開設年月日 平成 22 年 4 月 12 日
- (3) 主要施設
 - ・大ホール (2F) 311.39 m² ・ステージ (2F) 94.21 m²
 - ・中会議室 (2F) 73.62 m² ・会議室 (3F) 64.24 m²
 - ・大会議室 (3F) 104.42 m² ・調理実習室 (3F) 55.38 m²
 - ・研修室 (4F) 44.05 m² ・和室 (40 畳) (4F) 73.14 m²
- (4) 利用案内
 - ・開館時間 午前 9 時～午後 10 時

2 風連陶芸センター

- (1) 所在地 名寄市風連町仲町 86 番地
- (2) 開設年月日 昭和 54 年 9 月 1 日
- (3) 主要施設
 - ・床面積 184.22 m² ・事務室 10.50 m²
 - ・展示室 23.25 m² ・研修室 76.59 m²
 - ・機械室 47.39 m²
- (4) 利用案内
 - ・開館時間 午前 8 時 45 分～午後 5 時 30 分
～午後 9 時 (夜間講座のみ)
 - ・休館日 土・日曜日、国民の休日
 - ・年末年始 (12 月 30 日～1 月 5 日)

◆生涯学習プログラムの整備と学習への支援

1 瑞生大学 (高齢者事業)

講話、軽スポーツ、各種研修会、健康教室、農園づくり、クラブ活動等の講座で生涯学習を深める。

(1) 学生数	大学 1 年生	5 人	大学 2 年生	5 人
	大学院 1 年生	12 人	大学院 2 年生	11 人
	研究生	79 人		

合 計 130 人

- (2) 開設日 毎月7・17・27日を原則として開設
- (3) 学習講座（年間33講座）
みのりの風・まなびの風・ふれあいの風・やすらぎの風・おもいでの風
- (4) クラブ活動
書道・フォークダンス・カラダン・パソコン・陶芸
- (5) 異世代間交流
風連中央小学校との交流会

2 風連陶芸センター事業

児童、生徒、一般対象の陶芸教室、サークル活動の支援

- ・各小学校の体験教室（随時）
- ・サークル活動（毎月2回）・一般陶芸教室（毎月2回）
- ・瑞生大学陶芸クラブ活動（毎月2～3回）・各団体等の体験研修会（随時）

3 風連公民館事業

(1) 会議の開催

- ・名寄市風連公民館運営審議会（年2回開催予定）
第1回目 6月上旬～中旬 ・ 第2回目 2月下旬予定
- ・名寄市風連公民館分館長・主事会議（年2回開催予定）
第1回目 6月上旬～中旬 ・ 第2回目 各分館毎に開催

(2) 風連公民館講座

◇切り絵手紙講座

◇料理教室

◇書き初め大会

平成24年1月7日（土）予定

(3) ジャックの豆事業

市民5人以上で構成される自主的な学習グループ・サークルで、活動を組織化・活性化させるために必要な助成を行い、市民の生涯学習活動を促進する。

(4) 花と緑のくらし事業

風連地区各小中学校への花の苗代補助

(5) 風連公民館分館活動の推進

風連公民館各分館（5分館）への地域活動推進（交付金の交付）

旭分館（306,000円）・下多寄分館（252,000円）

日進分館（234,000円）・東風連分館（252,000円）

西風連分館（288,000円）

(6) 社会教育関係団体活動推進補助金

(7) 関係団体に対する補助金

風連文化祭実行委員会（200,000円）

II 生涯スポーツの振興

◆スポーツ施設の整備

スポーツ施設の整備と改修を計画的に行い、スポーツ活動を通じた交流、健康維持、増進を図る

1 維持管理

- ・風連地区（市直営）

名寄市風連B&G海洋センター、名寄市風連農村環境改善センター、名寄市風連東地区運動広場テニスコート、名寄市風連東地区運動広場パークゴルフ場、名寄市営風連球場、名寄市風連スキー場

（施設概要）P54 ～ 6 市内体育施設 に記載

2 施設整備

- （1）ユーロトランプ・スプリングベット（トランポリン用具）
- （2）東地区運動広場簡易パークゴルフ場休憩所テント

◆スポーツ振興事業

生涯を通じて年齢や体力に応じたスポーツ活動を楽しみ、相互の交流、健康維持、増進の促進を図るため、スポーツクラブ「ポポ」等と共催した事業の実施。

1 各種スポーツ教室及び大会の支援

各種スポーツ教室の開催及び各種スポーツ大会に支援、協力します

2 関係団体に対する補助金等

スポーツ団体の育成・支援及び関係団体の経費を負担します

- ・風連町体育協会補助金
- ・風連町スポーツ少年団補助金
- ・風連スポーツクラブ「ポポ」補助金
- ・風連日進スケートリンク補助金

3 学校開放事業の推進

学校体育施設の開放事業を推進し、多くのスポーツ活動の場を提供します。

小学校（4校）風連中央小学校、風連下多寄小学校、東風連小学校、風連日進小学校
中学校（1校）風連中学校（グラウンドのみ）

4 総合型地域スポーツクラブの拡大

風連スポーツクラブ「ポポ」を支援・協力し、組織の拡大を促進します。

III 青少年の健全育成

◆青少年健全育成事業

1 少年の学習活動

都会っ子体験交流事業の推進

名寄市と東京都杉並区の異なる環境を持つ子ども達の交流を通して、人間性にあふれ意欲に満ちた子ども達の育成を図る。

小学生（4年生～6年生）杉並区25名、名寄市25名

名寄会場 7月28日～31日（3泊4日）・東京会場 8月5日～8日（3泊4日）

IV 地域文化の継承と創造

◆芸術文化振興事業

1 風連文化祭

市民が行っている各種文化活動について発表の場をつくることで、文化活動への参加意欲を高め、市民交流の中から文化の創造を促し、地域文化の発展及び市民生活の充実に資することを目的に開催する。

風連文化協会を中心とした実行委員会を組織して実施します。

◇芸能発表会 11月3日

◇作品展示等 11月2日～3日

2 関係団体に対する負担金・補助金

- | | |
|------------------|----------|
| (1) 風連御料太鼓補助金 | 59,000円 |
| (2) 名寄市風連文化協会補助金 | 276,000円 |



ふうれん地域交流センター「風っ子ホール」

4 名寄市智恵文公民館の事業計画

I 生涯学習社会の形成

◆文化活動拠点施設整備事業

【施設概要】

智恵文公民館（智恵文多目的研修センター）

- 1 所在地 名寄市字智恵文 4471、4191 番地（TEL 01654-8-2101）
- 2 開設年月日 昭和55年1月1日
- 3 主要施設
 - ・大集会室 264.0 m²
 - ・調理実習室 46.2 m²
 - ・研修室（老人室） 50.7 m²
 - ・和室 43.5 m²
 - ・図書閲覧室
 - ・研修室 43.5 m²
- 4 利用案内
 - ・開館時間 午前9時～午後10時
 - ・休館日 毎月末日（ただし、その日が土・日曜日又は国民の休日にあたる時はその前日）
年末年始（12月30日～1月5日）

◆生涯学習プログラムの整備と学習への支援

1 情報提供と相談体制の整備

◇広報誌「ちえぶん」の発行による情報提供

- ・毎月の地域情報、保育所・小学校・中学校の行事等を掲載し、地域へ発信

2 学習要求に応える公民館活動

（1）友朋学級（高齢者学級）の開講

地域の65歳以上の希望者を対象に、手工芸・講話・軽運動・地域の小中学校との交流などの講座を開催

（2）分館事業の支援

智北・八幡・智南の各分館において、主に農閑期に料理教室・手芸教室・レクリエーション大会などを実施（智西分館は平成24年度休館）

3 世代間交流の促進

◇オセロ・餅つき大会の実施

12月下旬予定

- ・地域の小中学生と高齢者がふれあい、日本の伝統文化を体験

II 家庭教育の推進（主要施策）

◆家庭と地域の教育力の向上

◇親子の絆を深める場の提供

- ・親子書き初めの実施

1月初旬予定

作品は一定期間智恵文多目的研修センターに展示

◆関係機関・団体とのネットワークづくり

◇家庭、学校、地域、関係機関、団体との事業連携

- ・趣味の作品展示会の開催

2月初旬予定

「ちえぶん健康まつり」の共催として、友朋学級や地域住民サークルなどが制作した手芸・陶芸・書道・写真などを展示

Ⅲ 生涯スポーツの振興（主要施策）

◆スポーツ振興事業

◇各種スポーツ大会の支援

- ・智恵文地区ミニバレーボール大会
- ・智恵文・名寄 歩くスキー交流会

2月初旬予定

2月初旬予定

Ⅳ 青少年の健全育成（主要施策）

◆青少年健全育成事業

◇子ども会活動の促進援助

- ・智恵文子ども会雪中運動会の共催

2月中旬予定

地域の小中学生が、雪中でのゲーム・スポーツを通して交流

Ⅴ 豊かな地域文化の継承と創造（主要施策）

◆芸術文化振興事業

◇各種講座・教室などの開設と内容充実

- ・書道講座の開設

地域住民を対象に毎週木曜日開催

5 スポーツ振興事業計画

◆生涯スポーツの振興

市民皆スポーツを目指し、生涯を通じて年齢や体力に応じたスポーツ活動を楽しみ、相互の交流を深め、健康の維持・増進が図られるようスポーツ施設の整備・改修や管理運営の充実に努めます。

スポーツ団体の育成、指導者の育成・確保、スポーツ教室・各種スポーツ大会の支援・充実などを体育協会、地域スポーツクラブと協力して進めるとともに、スポーツ情報の収集・提供に努めます。

本年度、市民の「スポーツ意識・実態調査」を実施します。

1 スポーツ施設の整備

スポーツ施設の整備と改修を計画的に行い、スポーツ活動を通じた交流、健康維持・増進ができるよう施設の整備や効率的な利用の促進を図るとともに有効な利用方法を検討します。

(1) 維持管理

- ・名寄地区（指定管理者制度）

① 財団法人名寄市体育協会（9施設）

名寄市スポーツセンター、名寄市営球場、名寄市営サブ球場、名寄市テニスコート、名寄公園テニスコート、名寄市営南水泳プール、名寄市営智恵文水泳プール、名寄市B&G海洋センター、名寄市ピヤシリシャンツェ

② 株式会社名寄振興公社（1施設）

体育センターピヤシリ・フォレスト

※名寄市北体育館は、競技団体（名寄弓道会）の自主管理運営

(2) 施設整備

- ① フォレスト エアロバイク購入
- ② ピヤシリシャンツェ人工降雪機賃貸借（H20～26年迄）
- ③ フォレスト バスケットコート新規格ライン改修
- ④ 浅江島公園クロスカントリーコース維持管理
- ⑤ 市営テニスコート砂入り人工芝張替、観覧席整備
- ⑥ 智恵文プール上屋シート張替
- ⑦ 北体育館照明改修

2 スポーツ振興事業

(1) 各種スポーツ大会の開催及び支援

スポーツ大会の開催及び各種スポーツ大会を支援、協力します。

① なよろ憲法記念ロードレース（主催）／5月6日	1,400千円
② 名寄～下川間往復駅伝競走（主催）／6月3日	340千円
③ 名寄市民スキー大会（主催）／2月下旬	840千円
④ 名寄ピヤシリジャンプ大会（共催）／12月中旬	855千円
⑤ 名寄ピヤシリ歩くスキー大会（共催）／3月4日	855千円
⑥ ピヤシリカップカーリング大会／3月下旬	50千円
⑦ クロスカントリー名寄大会／12月下旬	225千円
⑧ サンピラー国体開催記念サマージャンプ大会／7月下旬	585千円
⑨ 市民水泳大会／8月下旬	50千円
⑩ 名寄あかげらロードレース／9月	90千円
合計	5,290千円

(2) 関係団体に対する補助金等

スポーツ団体の育成・支援及び関係団体の経費を負担します。

① 名寄市体育協会補助金	3,000 千円
② プールパトロール補助金	250 千円
③ 市営スケートリンク設置負担金	1,750 千円
④ B & G体験セミナー・クルーズ参加負担金	386 千円
⑤ 北海道B & G海洋センター連絡協議会負担金	40 千円
⑥ 上川北部広域スポーツクラブ負担金	50 千円
⑦ 上川管内スポーツ推進委員協議会負担金	59 千円
合計	5,535 千円

(3) 学校開放事業の推進

学校体育施設の開放事業を推進し、多くのスポーツ活動の場を提供します。

- ① 名寄地区小学校（6校）：名寄小学校、名寄南小学校、名寄東小学校、名寄西小学校、豊西小学校、智恵文小学校
- ② 名寄地区中学校（3校）：名寄中学校、名寄東中学校、智恵文中学校

(4) スポーツフェスティバル等の開催

スポーツフェスティバル等を開催し、新しいスポーツや軽スポーツなどの紹介・体験等を通じ、市民にスポーツ情報とスポーツに親しむ場を提供します。

(5) 総合型地域スポーツクラブの拡大

上川北部広域スポーツクラブ(中川町、音威子府村、美深町、名寄市、下川町5市町村H21.12.21設立)の活動を通じて、冬季スポーツにおける子どものタレント発掘・育成と交流を図ります。

(6) 指導者の育成強化

スポーツ推進委員や体育協会等と協力し、スポーツ人口の拡大を図るとともに、指導者の育成・確保を図ります。

(7) スポーツ合宿の誘致、受け入れ

交流人口の拡大と地域の活性化を図るために、陸上・サッカー・スキーなど、夏冬を通した円滑な受け入れに取り組んでまいります。

3 スポーツ教室

○平成24年度スポーツ教室開催事業計画

【名寄地区】

教 室 名	参 加 対 象	募 集 人 数	開 催 回 数
幼児水慣れ教室Ⅰ	未就学児	10名	3回
幼児水慣れ教室Ⅱ	未就学児	10名	3回
冬休みアルペンスキー教室	小 学 生	15名	6回
キッズエアロビクス教室Ⅰ	1歳～未就学児	15名	7回
キッズエアロビクス教室Ⅱ	1歳～未就学児	15名	7回
エアロビクス教室Ⅰ	一 般	15名	7回
エアロビクス教室Ⅱ	一 般	15名	7回
太極拳教室Ⅰ	一 般	15名	7回
太極拳教室Ⅱ	一 般	15名	7回
太極拳教室Ⅲ	一 般	15名	7回
ヨーガ教室Ⅰ	一 般	15名	7回
ヨーガ教室Ⅱ	一 般	15名	7回
ボクササイズ教室	一 般	15名	7回
バランスボール体操教室	一 般	15名	7回
夜間水中エアロビクス教室	一 般	15名	7回
水中健康運動教室	一 般	15名	7回
ステップエクササイズ教室	一 般	15名	7回
ウォーキング教室	一 般	15名	7回
筋コンディショニング教室	一 般	15名	7回
タオルエクササイズ教室	一 般	15名	7回
サーキットトレーニング教室	一 般	15名	7回
初心者ゴルフ教室	一 般	10名	7回
合 計		315名	145回

【風連スポーツクラブ『ポポ』】

教 室 名	対 象	開設日数	募集人数
フラダンス教室	一 般	3	20
ジュニア水泳教室	小学生	3	50
親子水遊び教室	親子	2	10
クロスカントリー大会	小・中・高・一般	1	50
体力テスト	小・中・高・一般	1	100
幼児トランポリン教室	幼児	3	20
ジュニアトランポリン教室	小学生	4	20
ジュニアスキー教室	小学生	3	40
スケート教室	小・中・高・一般	2	30
スキー場まつり	小・中・高・一般	1	100
合 計		23	440

○平成23年度スポーツ教室開催事業実績

【名寄地区】

教 室 名	開 設 時 期	開催回数	受講延人数	指導者延数
チビッ子トランポリン教室	5月23日～6月20日	5	90名	10名
初心者ゴルフ教室	5月28日～7月17日	7	102名	14名
水中エアロビクス教室	6月15日～7月13日	5	28名	5名
夜間水中エアロビクス教室Ⅰ	6月17日～7月15日	5	34名	5名
太極拳教室Ⅰ	6月21日～7月26日	5	59名	5名
ボクササイズ教室Ⅰ	6月23日～7月28日	5	31名	5名
エアロビクス教室Ⅰ	6月24日～7月22日	5	33名	5名
キッズエアロビクス教室Ⅰ	6月24日～7月22日	5	77名	5名
腰痛予防教室	6月27日～8月1日	5	21名	5名
夜間水中エアロビクス教室Ⅱ	8月5日～9月2日	5	35名	5名
ヨーガ教室Ⅰ	8月22日～9月26日	5	28名	5名
ステップエクササイズ教室	8月23日～9月20日	5	38名	5名
太極拳教室Ⅱ	10月18日～11月15日	5	50名	5名
バランスボール体操教室	10月19日～11月16日	5	70名	5名
ボクササイズ教室Ⅱ	10月27日～12月1日	5	35名	5名
エアロビクス教室Ⅱ	11月4日～12月2日	5	59名	5名
キッズエアロビクス教室Ⅱ	11月4日～12月2日	5	109名	5名
健康体操教室	11月7日～12月5日	5	中 止	
チューブエクササイズ教室	1月26日～2月23日	5	24名	5名
ヨーガ教室Ⅱ	1月27日～2月24日	5	89名	5名
合 計		102回	1,012名	109名

【風連スポーツクラブ『ポポ』】

教 室 名	開 設 時 期	開催回数	受講延人数	指導者延数
ジュニア水泳教室	7月3日～8月7日	4	96	35
親子水遊び教室	7月10日・7月24日	2	35	6
クロスカントリー大会	9月17日	1	23	5
体力テスト	10月2日	1	78	20
ジュニアトランポリン教室	1月21日～2月18日	4	60	12
幼児トランポリン教室	2月11日～2月23日	3	19	6
ジュニアスキー教室	12月23日～1月9日	3	95	20
スケート教室	1月12日～1月13日	2	28	4
スキー場まつり	2月26日	1	45	10
合 計		21	479	118

4 平成23年度学校開放事業

○平成23年度学校体育施設開放事業利用状況

【名寄地区】

学校名	利用日数（日）			利用者数（人）			利用平均（人/1日）	
	23年度	22年度	前年比	23年度	22年度	前年比	23年度	22年度
名寄小学校	223	250	89%	5,300	4,747	112%	23.8	19.0
名寄南小学校	250	195	128%	3,519	2,344	150%	14.1	12.0
名寄東小学校	178	0	皆増	2,016	0	皆増	11.3	0
名寄西小学校	302	275	110%	3,815	3,546	108%	12.6	12.9
豊西小学校	157	141	111%	2,273	2,408	94%	14.5	17.1
中名寄小学校	0	30	皆減	0	96	皆減	0	3.2
智恵文小学校	58	64	91%	1,050	1,263	83%	18.1	19.7
名寄中学校	264	268	99%	3,048	3,141	97%	11.5	11.7
名寄東中学校	206	237	87%	3,728	3,643	102%	18.1	15.4
智恵文中学校	7	21	33%	66	234	28%	9.4	11.1
大学本館	0	41	皆減	0	574	皆減	0	14.0
合計	1,645	1,522	108%	24,815	21,996	113%	15.1	14.5

【風連地区】

学校名	利用日数			利用人数			平均利用人数	
	23年度	22年度	前年比	23年度	22年度	前年比	23年度	22年度
風連中央小学校	210	195	108%	3,728	3,619	103%	17.8	18.6
風連下多寄小学校	40	62	65%	365	660	55%	9.1	10.6
東風連小学校	152	152	100%	1,553	1,509	103%	10.2	9.9
風連日進小学校	24	31	77%	222	331	67%	9.3	10.7
合計	426	440	97%	5,868	6,119	96%	13.8	13.9

5 平成24年度各種大会開催予定

(1) 名寄市（教育委員会）が主催・主管する大会

大会名	主催・主体名	参加予定数	開催時期	会場
第60回なよろ憲法記念 ロードレース	名寄市教育委員会	574人	5月6日	なよろ健康の森 陸上競技場
第40回名寄～下川間 往復駅伝競走	名寄市教育委員会 下川町教育委員会	53チーム	6月3日	名寄市～下川町
第34回名寄市民スキー大会	名寄市民スキー大会実行委員会 (名寄市・名寄市教育委員会・名寄地方スキー連盟)	150人	2月下旬	名寄ピヤシリスキー場

(2) 名寄市（教育委員会）と競技団体が共催する大会

大会名	主催・主体名	参加予定数	開催時期	会場
第43回名寄ピヤシリ ジャンプ大会	名寄地方スキー連盟 北海道新聞社	160人	12月	ピヤシリジャンツェ
第31回名寄ピヤシリ 歩くスキー大会	名寄歩くスキー協会	600人	3月	なよろ健康の森

(3) 関係競技団体が主催・主管する大会

大会名	主催・主体名	参加予定数	開催時期	会場
サンピラー国体記念 第10回サマージャンプ大会	名寄地方スキー連盟	150人	7月	ピヤシリジャンツェ
第28回あかげらロードレース	道北陸上競技協会名寄支部	100人	9月	なよろ健康の森 陸上競技場
平成24年度市民水泳大会	名寄水泳協会	60人	8月	市営南水泳プール
第18回クロスカントリー 名寄大会	名寄地方スキー連盟	400人	12月	なよろ健康の森
第25回ピヤシリカップ カーリング大会	名寄カーリング協会	150人	3月	サンピラー交流館 カーリングホール

(4) 風連スポーツクラブ「ポポ」が主催する大会等

大会名	前年度参加者数	開催月	会場
クロスカントリー大会	23人	9月	風連緑町公園
体力テスト	78人	10月	風連B&G海洋センター等
スキー場まつり	45人	2月	風連スキー場

6 市内体育施設

1 名寄市スポーツセンター

(1) 所在地 名寄市西7条南12丁目55番地134 (TEL 3-6627・3-6628 FAX 3-8671)

(2) 開設年月日 昭和50年4月1日
(平成5年増築)

(3) 主要施設 敷地面積 17,270 m²
建物 4,297.95 m²
鉄筋コンクリート一部鉄骨造り2階建
1階 3,234.52 m² 2階 1,063.43 m²

アリーナ 1,484.40 m² (42m×35m)

第1体育室 237.60 m² ロビー 264.30 m²

幼児体育室 91.20 m² 第2体育室 511.20 m²

研修室 70.40 m² シャワー更衣室 76.16 m²

事務室 73.41 m²

観覧席 (固定席 300人、立見席 300人、移動席 2,300人)

駐車場 350台 (172m×55m)

(4) スポーツ設備

バスケットボール 2面 バドミントンコート 10面

バレーボール(9人制) 2面 卓球コート 20台

〃 (6人制) 3面 テニスコート 2面

柔道 50畳×2面 トランポリン等体操用具 1式

体力測定器具 各種 トレーニング器具 各種

(5) 利用案内

開館時間 日曜日及び国民の祝日 午前9時～午後5時

上記以外の日 午前9時～午後9時

休館日 ①年未年始(12月30日～1月5日)

②毎月末日(但し、末日が土曜日・休日にあたる月は、その直近の日)

利用料 個人使用の時間帯区分を

午前(9:00～12:30)

午後(13:30～17:00)

夜間(18:00～21:00)

の3段階とし、使用料を徴する。

2 その他施設（名寄地区）

施設名	所在地	開設年月日	構造及び規模	施設設備の概要	開設期間
名寄市北体育館	東1条 北6丁目	H元. 4. 1	木造モルタル一部2階建 1階 583.20㎡ 2階 87.48㎡ 670.68㎡	弓道場、研修室 更衣室、管理室	名寄弓道会 自主管理
名寄市B&G 海洋センター	西4条 北8丁目	H 2. 5. 31	上屋シート、夜間照明 プール（ステンレス製） 6コース 25m×13m 幼児用 10m×6m	事務室、医務室 更衣室、シャワー トイレ、機械室、 薬品室	5月中旬～ 10月下旬 有料
名寄市営 南水泳プール	西7条 南12丁目	S48. 8. 14 H19. 5. 19 (改修)	鉄筋コンクリート造 FRP製 6コース 25m×13m 幼児用 13m×4.5m	循環装置、更衣室 シャワー、事務室 ミーティングルーム 機械室、トイレ 照明施設、駐車場	5月中旬～ 10月下旬 有料
名寄市営 智恵文水泳プール	智恵文 11線 北2番地	S51. 10. 1 H 5. 6. 30 (改修) H24. 5. 15 (シート改修)	鉄筋コンクリート造 鋼鉄製上屋シート付 ビニールシート張 5コース 25m×11m (1コース幼児用)	管理棟、循環装置 更衣室、シャワー 管理人室、機械室 トイレ 照明施設 2基	6月中旬～ 9月下旬 有料
名寄市営球場	東2条 南11丁目	S42. 7. 1 S55. 11. 30 (改修) H 7. 11. 16 (改修)	敷地面積 17,216㎡ レフト・ライト 90m センター 110m メインスタンド 200人 内野スタンド 300人 外野芝生席 4,500人	バックネット 1基 ダッグアウト2カ所 スコアボード 1基 用具室 2カ所 役員室 1カ所 管理棟 1棟	5月上旬～ 10月下旬 有料
名寄市営サブ球場	緑丘	S50. 10. 1 S56. 11. 1 (改修)	敷地面積 13,200㎡ レフト・ライト 90m センター 110m	バックネット 1基 用具庫 1カ所	5月上旬～ 10月下旬
名寄公園 テニスコート	緑丘	S43. 11. 1 H 5. 9. 20 (改修)	グリーンサンドコート 2面	用具室、トイレ	5月上旬～ 11月上旬 有料
名寄市 テニスコート	西7条 南12丁目	S54. 10. 31 H 2. 8. 25 H16. 9. 1 (改修)	グリーンサンドコート 4面 オムニコート 4面	管理棟、更衣室 トイレ 夜間照明施設 (H 3. 8. 15)	
ゲートボール場	西7条 南12丁目	H 2. 6. 28 H 8. (増設)	コート 18m×70m 6面		4月下旬～ 10月下旬
土俵	西7条 南12丁目	H 3. 8. 4	入母屋造り、銅板葺き		
カーリングリンク	日進 カピラー 交流館内	H18. 11. 11	シート 5面		11月上旬～ 3月下旬

施設名	所在地	開設年月日	構造及び規模	施設設備の概要	開設期間
名寄 ピヤシリスキー場 S63. 6. 24 F I S公認	日進	S48. 12. 29	面積 67. 05ha 駐車場 1, 000台収容 最高斜度 35度 平均斜度 18. 3度 全長 2, 000m	第1リフト 696m 第2リフト 406m 第3リフト 442m ロマンリフト 1, 395m ロッジ 116人収容 管理棟 1 パトロール詰所 1 児童生徒休憩所 1 無料休憩所 2	12月上旬～ 4月上旬
名寄市 ピヤシリシャンツェ ノーマルヒル K90 公認	日進91・ 97林班	H14. 10. 1	鉄筋コンクリート構造 アプローチ直線 斜度35度 ランディングバーン 最高斜度36. 5度	ジャッジハウス 2 スノーメイキング システム 夏冬兼用シングル リフト 224m (H5. 11. 24) 管理棟、トイレ	夏期間 4月下旬～ 10月上旬 冬期間 12月上旬～ 3月末日
名寄市 ピヤシリシャンツェ メディアムヒル K65 公認	日進91・ 97林班	H 6. 11. 30	施設総面積 32, 444ha 鉄筋コンクリート構造 アプローチ直線 斜度30度 ランディングバーン 最高斜度35. 5度 全長 212. 5m アプローチ 62. 0m ランディングバーン 114. 8m アップヒル 52. 8m	サマー設備 機械室 1棟 パイプライン 268m バイオトイレ 1棟	
名寄市営 スケートリンク	西13条 南4丁目	S46. 12. 1	スピードリンク 1周250m、幅10m	管理棟(事務室) 休憩室 夜間照明	12月下旬～ 2月中旬
天塩川緑地	天塩川 左岸 天塩川 右岸	S57、S58 S56、S61 S60、S61 H元 S63 S63 H14	野球場(A・B) 2面 サッカー場、ラグビー場 ソフトボール場 4面 グランドゴルフ場18ホール サイクリングロード2. 2km ヘルスビートコース パークゴルフ場 18ホール		5月上旬～ 10月下旬
名寄川緑地	名寄川 左岸	S62 H 6	ゲートボールコート 2面 パークゴルフ場 18ホール		5月上旬～ 10月下旬
陸上競技場	日進 なよろ 健康の森	H 8. 5. 26	1周400mクレートラック	管理棟(事務室)	5月上旬～ 10月下旬
えんれい パークゴルフ場	日進 なよろ 健康の森	H 8. 5. 24	18ホール 1. 9ha		5月上旬～ 10月下旬
あかげら パークゴルフ場	日進 なよろ 健康の森	H12. 5. 16	18ホール 1. 9ha		有料
名寄公園 パークゴルフ場	緑丘17線	H14. 6. 8	18ホール 1. 1ha	管理棟、トイレ 駐車場 35台 駐輪場 20台	

(2) 風連地区

施設名	所在地	開設年月日	構造及び規模	施設設備の概要	開設期間
名寄市風連スキー場	風連町 字西風連	S45	面積 77,146㎡ 最大斜度 17度 平均斜度 11度	ヒュッテ ミニリフト 300m	12月中旬 ～ 3月上旬
名寄市営風連球場	風連町 字中央	S54	球場面積 12,451㎡ レフト・ライト 90m センター 110m 収容人数 2,000人	バックネット1基 ダッグアウト2ヶ所 スコアボード1基 用具室4ヶ所 役員室1ヶ所 トイレ1ヶ所	5月上旬 ～ 10月下旬
名寄市風連東地区運動広場テニスコート	風連町 新生町	S62	ハードコート 4面	夜間照明施設 用具室	5月上旬 ～ 10月下旬
名寄市風連東地区運動広場パークゴルフ場	風連町 新生町	H13	9ホール 1.4ha		5月上旬 ～
名寄市風連東地区運動広場簡易パークゴルフ場	風連町 新生町	H11 H22	18ホール 9ホール芝生化 (残り9ホールの芝生化はH24予定)		10月下旬
名寄市風連B&G海洋センター	風連町 新生町	H元	第1体育館 726.15㎡ 第2体育館 456.30㎡ プール 6コース 幼児用プール 69㎡	駐車場80台収容	
名寄市風連農村環境改善センター	風連町 新生町	S59	多目的ホール 382.90㎡		
海洋クラブ艇庫	風連町 字池の上	H2	カヌー 7艇 ペアカヌー 2艇 ローボート 2艇 ヨット 4艇		
名寄市風連サンシャインホール	風連町 字旭	H5	アリーナ 441.98㎡		

7 名寄市児童センター

市民のこころ豊かな人づくりを目的に、名寄市児童センター及び風連児童会館では、児童が放課後等に遊びやスポーツに親しみ、各行事や体験活動を通して健康を増進し情操を豊かにする自由来館型の安全で安心な居場所として設置しています。

また、放課後児童対策として、保護者が就労等によって昼間家庭が留守になる環境にある児童の健全育成と安全な生活の場所を確保するため、名寄市南児童クラブ及び風連児童クラブを設置しています。

児童センターの施設面では、平成 23 年度に児童室の移設に伴う一部改修を行うことで、建物の主な機能として1階を児童センター、2階を教育相談センターとして活用しています。

南児童クラブでは、平成 23 年度に増改築工事を行い、高学年・低学年の2クラス分けとして、管理運営上の安全を図っています。

風連児童会館及び風連児童クラブは、平成 23 年度から児童センターが所管し、施設面でも児童会館・児童クラブに分離し、それぞれの特性を生かした運営に努めています。

1 平成 24 年度基本目標

設置されている機関相互の特性を生かして、学校及び地域との連携を強化し、青少年の健全育成、子育て支援として子育て親子の利用を促進し、社会教育施設としての充実と利用しやすい環境の醸成に努める。

2 平成 24 年度運営方針

児童センターは、幼児から 18 歳までの子ども達が気軽に来館し、個々や仲間との遊びを通して健康を増進し、情緒を豊かにする安全な居場所となるよう努める。

児童クラブは保護者が就労等によって、昼間家庭が留守になる環境にある小学児童の健全育成と安全な生活の場所を確保し、保護者の仕事と子育ての両立を支援していく。

3 平成 24 年度事業計画

月	児童センター	南児童クラブ	風連児童会館	風連児童クラブ
4	進級おめでとう会	◎毎月の行事	◎毎月の行事	◎児童会館の各種行事は
5	母の日プレゼント作り	折り紙教室	みるぶつく（読書・読み聞かせ）	一緒に連携して行う
	チャレンジデー参加	工作教室		◎季節の行事
6	父の日プレゼント作り	将棋教室 ～10月	なわとび検定	バス遠足（春・秋）
	一輪車教室	お誕生会	キャンディ（DVD鑑賞）	野外活動
7	七夕会	◎季節の行事	◎季節の行事	粘土で作ろう（陶芸）
8	児童センターまつり	新入生歓迎会	歓迎会	ちくちくタイム（裁縫）
9	お年寄りに感謝しよう	一輪車教室	工作教室	バス遠足
	バス遠足	チャレンジデー参加	レクリエーション	新年お楽しみ会
10	ハロウィン	七夕会	七夕まつり	
11	ブレイクダンス教室	幅跳び記録会	児童会館まつり	
12	クリスマスおもちゃつき会	バス遠足	クリスマス会	
1	冬休み工作教室	ハロウィン	お正月飾り作り	
2	節分まめまき	節分行事	節分まめまき	
	冬をたのしもう	ひなまつり会	おひなまつり会	
3	ひなまつり	進級お祝いお別れ会	お別れ会	
毎 月	本の読み聞かせ（毎週土） 工作教室（第2土曜）			

4 施設概要

【児童センター】

(1) 所在地 名寄市西 11 条北 2 丁目 (TEL・FAX : 01654-3-3465)

(2) 開設年月日 名寄市児童センター 平成 23 年 3 月 27 日
(愛称「ほっと 2 1」)

経緯 ・旧青少年会館 昭和 43 年 1 月 5 日 ・旧児童センター 平成 4 年 4 月 20 日
・旧働く婦人の家 昭和 48 年 1 月 20 日 ・旧女性児童センター 平成 16 年 4 月 1 日
・両施設を廊下で結合 昭和 52 年 8 月 (旧青少年会館 解体 平成 23 年 8 月 10 日)

(3) 主要施設 ・延床面積 915.24 m²

・ 1 階	589.21 m ²	・ 2 階	326.03 m ²
児童室 (集会室)	32.2 m ²	相談室	33.6 m ²
図書室	46.2 m ²	適応指導教室	33.6 m ²
調理室	50.4 m ²	適応指導教室 (和室)	67.2 m ²
ホール	84.62 m ²	会議室	32.2 m ²
体育室	236.52 m ²	講習室	67.2 m ²
事務室	50.4 m ²	2階廊下他	92.23 m ²
1階用具庫・トイレ他	88.87 m ²		

(4) 利用案内

・開館時間 午前 9 時～午後 5 時
・休館日 日曜日・国民の祝日・年末年始 (12月31日～1月 5 日)

(5) 利用状況 (単位：人)

◎児童センター 一般利用状況

年度	平成 23 年度	平成 22 年度
開設日数	294	305
延べ人数	9,595	15,715

◎児童センター 放課後児童利用状況

年度	平成 23 年度	平成 22 年度
開設日数	294	295
延べ人数	3,467	3,168

【風連児童会館】

(1) 所在地 名寄市風連町南町 84 番地の 1

(2) 開設年月日 昭和 50 年 12 月 1 日

(3) 主要施設 ・床面積 899.40 m² ・児童室 47.00 m²
・資料室 30.50 m² ・図書館風連分館 155.52 m² (1 階)
・事務室 30.00 m² 222.8 m² (2 階)

(4) 利用案内

・開館時間 (児童会館) 午前 9 時～午後 5 時
・休館日 日曜日、国民の祝日・年末年始 (12月30日～1月 5 日)

{ ・開館時間 (図書館風連分館) 午前 9 時 30 分～午後 5 時 (平日)、午前 9 時 30 分～午後 4 時 (土曜日)
・休館日 日曜日・国民の祝日・毎月末日・年末年始 (12月30日～1月 5 日)

(5) 利用状況 (単位：人)

◎風連児童会館 放課後児童利用状況

年度	平成 23 年度	平成 22 年度
開設日数	295	293
延べ人数	6,466	6,893

【南児童クラブ】

(1) 所在地 名寄市立名寄南小学校内（名寄市西6条南12丁目）

(2) 開設年月日 平成10年4月1日

(3) 主要施設

- ・延床面積 192.00 m²
- ・児童室 176 m²
- ・事務室 16 m²

(4) 利用案内

・開館時間 平日 下校時～午後6時30分

土曜日・長期休業日 午前8時30分～午後6時30分

・休館日 日曜日・国民の祝日・年末年始（12月30日～1月5日）

(5) 利用状況（単位：人）

◎南児童クラブ（1・2年生）

年度	平成23年度	平成22年度
開設日数	295	296
延べ人数	9,231	9,651

◎南児童クラブ（3・4・5年生）

年度	平成23年度	平成22年度
開設日数	295	296
延べ人数	4,449	4,844

【風連児童クラブ】

(1) 所在地 名寄市風連町南町85番地の2

(2) 開設年月日 平成10年4月1日

(3) 主要施設

- ・延床面積 142.80 m²
- ・児童室 46 m²
- ・遊戯室 46 m²
- ・トイレ他 50.8 m²

(4) 利用案内

・開館時間 平日 下校時～午後6時30分

土曜日・長期休業日 午前8時30分～午後6時30分

・休館日 日曜日・国民の祝日・年末年始（12月30日～1月5日）

(5) 利用状況（単位：人）

◎風連児童クラブ

年度	平成23年度	平成22年度
開設日数	295	293
延べ人数	3,969	6,042

8 名寄市青少年センター（名寄市児童センター内）

1 平成 24 年度活動方針

名寄市内の青少年の健全育成を目指し、日常的には巡視・指導活動を通して子どもの理解と非行の未然防止に努めます。各学校・警察署・青少年健全育成諸団体と連携を図り、地域住民の協力を得ながら見守り、声かけを組織的・計画的に推進していきます。

なお、今年度からは、風連地区における一般巡視活動を行うこととします。

2 平成 24 年度活動内容

- ① 指導及び巡視（一般巡視、特別巡視、下校時に合わせた指導巡視）
- ② 広報活動と地域活動の推進（青少年健全育成標語の募集等）
- ③ 環境浄化運動（有害環境にかかる市内店舗立入調査・監視）
- ④ 指導員の研修（情報交換等）
- ⑤ 青少年表彰（市内在住の青少年で、顕著な功績があった団体、個人を表彰する）

3 平成 24 年度事業計画

月	事業	月	事業
4月	・一般巡視 ・特別巡視	10月	・青少年健全育成標語募集(小・中・高等学校) ・一般巡視
5月	・名寄市青少年センター指導員委嘱状交付式 ・名寄市青少年問題協議会 ・一般巡視	11月	・全国青少年健全育成強調月間に連動した活動 ・合同研修会(センター指導員、名寄警察署補導員、保護司会) ・標語入選者表彰式・標語ポスター配布掲示 ・一般巡視
6月	・青少年表彰推薦依頼(高校・大学・企業団体) ・名寄市青少年センター指導員研修会 ・一般巡視	12月	・一般巡視
7月	・北海道青少年健全育成条例に基づく立入調査 ・社会を明るくする運動(キャラバン隊参加) ・一般巡視	1月	・冬休み特別巡視 ・一般巡視
8月	・夏休み特別巡視(名寄・風連地区祭典会場) ・一般巡視(夜巡視)	2月	・名寄市青少年問題協議会 ・一般巡視
9月	・青少年表彰選考委員会 ・青少年表彰式 ・一般巡視	3月	・一般巡視

9 名寄市教育相談センター（名寄市児童センター内）

名寄市教育相談センターは、教育上の諸問題に対する指導、助言等を行うために設置しています。電話等により児童生徒やその保護者の相談に対応する「ハートダイヤル」の運営や不登校及びその傾向にある児童生徒に関して支援する「適応指導教室」を開設しています。

平成23年度からは、教育推進アドバイザー1名を配置して、より学校生活における問題への対応と教職員並びに関係機関との連携を図っていきます。

また、前年度から引き続き定期的（毎月第2・第4木曜日）にセンターの夜間開放を行い、軽スポーツ・調理実習・季節の行事などで、ひきこもりの解消や相談に対応していきます。

1 適応指導教室

不登校となった児童生徒に対し、適応指導教室への通室などにより、学校復帰や自立支援に向け、学習や多くの体験活動等の支援や指導を行う。適応指導教室は、学校への出席として扱われる。

平成23年度入室者数（実人員）

小学生	中学生	合計
2	5	7

2 ハートダイヤル

「ハートダイヤル」は、いじめ・引きこもり・不登校・落ち込み・イライラなど子供たちや保護者の多様化する悩みに対し、電話相談・面談を通して、その悩む心を和らげ自立する心を育むため開設しています。

	相談者							相談区分																
	保護者	小学生	中学生	高校生	一般			合計	暴力行為・非行一般	いじめ	不登校	怠学	学業・進路問題	親子関係（含家庭環境）	異性関係	性にかかわる問題	生活一般	学校の対応（含教師関係）	健康問題	友人関係	育児・子育て	しつけ	その他	合計
					学校関係者	関連機関職員等	その他																	
電話	30	1	2	2	1	0	88	124	1	4	11	0	8	3	0	1	73	9	3	4	3	2	2	124
面談	68	54	58	188	32	5	7	412	0	44	247	0	7	12	1	0	8	8	5	11	0	0	12	355
全体数	98	55	60	190	33	5	95	536	1	48	258	0	15	15	1	1	81	17	8	15	3	2	14	479

・この他に電話・面談以外の相談活動や学校・家庭訪問等の訪問活動が162件

3 教育推進アドバイザー

- (1) いじめ・不登校・非行事項等に係わる情報の共有に関すること
- (2) 必要に応じた教職員等の面談やケース検討会議のコーディネート、学校への定期的訪問に関すること
- (3) 家庭や地域との連携～必要に応じた訪問や相談等に関すること
- (4) 教職員並びに関係機関との連携に関すること

10 名寄市北国博物館

北国博物館は、北海道の北部に位置し、寒冷・多雪な冬と年間の気温差が60度を超える寒暖差がある名寄市の自然と歴史に学び、その知恵を発展させて今後の暮らしに生かしていく拠点として設置されました。厳しい自然の中で育まれてきた先人の知恵を体験しながら学び、伝承するとともに、マイナスイメージの強かった「北国」のイメージを楽しみや親しむ心を持って、プラス志向で新しい北国文化を創造していくことを運営の指針としております。

1 平成24年度重点目標

「名寄の自然と風景」「名寄の歴史を学ぶ」をテーマとした展示会の開催

2 平成24年度事業計画

月	展示会	観察会	その他
4月	及川幸雄絵画展 野外植物展		
5月	アオサギコロニー写真展	春の生き物に会いに行こう (観察クラブ)	GW企画「博物館であそぼう」 (イベント)
6月	樺太展～知られざる北の国境～ (巡回展)	親子見晴山ハイキング(観察クラブ) 初夏の自然探訪会	
7月	天塩川～営まれてきた人と魚の暮らし(特別展)	虫取りと川遊び (観察クラブ)	天塩川～その魅力を探る (特別展講演会)
8月	本田哲也 サンピラー絵本原画展	文化財探訪 北の鉄道遺産 巡り(夏休み活動)	本田哲也講演会(講演会)
9月	化石展	きのご観察会 ヤマベ釣り体験 (観察クラブ)	化石レプリカ作り (体験学習)
10月	MOA児童作品展 戦争体験を語り継ぐパネル展	きのご狩りと山菜料理 (観察クラブ)	
11月	風花10周年記念展	キャンドル作り (観察クラブ)	
12月	岡田成治写真展 「大雪山・天塩岳の四季」	クリスマスリース作り (観察クラブ)	岡田成治講演会 「大雪山・天塩岳の四季」 (講演会)
1月	昭和写真展	森の探検隊(冬休み活動)	冬の室内遊び
2月	冬の鉄路(特別展)		雪あかりコンサート
3月	棚橋美術教室作品展 新着資料展(企画展)		雪と遊ぼう(体験学習)

3 常設展示内容(面積:570㎡)

<テーマ>

北海道の北部に位置し、多雪・寒冷そして明瞭な四季の変化のある「名寄」で繰り広げられてきた自然と歴史について学び、未来へその知恵を継承発展させる。

- 北国名寄・・・・・・・・・・・・・ どうして多雪・寒冷なのか
- 北の先史・・・・・・・・・・・・・ 氷河期後の人間の暮らし
- カムイの森・・・・・・・・・・・・・ 冬の森を通して見たアイヌの自然と文化
- さむさ・ひと・くらし・・・・・・・・・ 生活資料からたどる雪・寒さとの関わりあいの歴史
- 映像コーナー・・・・・・・・・・・・・ 3面マルチスクリーンによる細氷現象を中心とした北国の四季の移ろいの上映と名寄市の花・鳥・木や指定文化財を紹介する情報検索など
- 郷土コーナー・・・・・・・・・・・・・ 国指定天然記念物「鈴石」「高師小僧」、アイヌの伝承者「北風磯吉」、名寄が生んだ名力士「名寄岩」

4 資料保有数

区 分	地 学	生 物	考 古	民 族	生 活	産 業	文献記録	合 計
H21末保有数	4,273	2,780	84,195	526	10,056	12,432	4,154	118,416
H22末保有数	4,274	2,781	84,238	526	10,343	12,470	7,086	121,718
H23末保有数	4,307	2,781	84,238	526	10,464	12,503	7,121	121,940

5 北国博物館施設概要

(1) 所在地 名寄市字緑丘 222 番地 (TEL 兼 FAX 3-2575)

(2) 開館年月日 平成 8 年 2 月 10 日

(3) 主要施設

延床面積 2,099 m² (1 階 1,655 m²・2 階 444 m²)

1 階		2 階	
エントランスホール	114 m ²	地域情報室	72 m ²
ギャラリーホール	154 m ²	講 堂	107 m ²
第 1 収蔵庫	60 m ²	書 庫	42 m ²
第 2 収蔵庫	177 m ²	研 究 室	130 m ²

6 利用案内

開館時間 午前 9 時～午後 5 時

休館日 毎週月曜日・年末年始

観覧料

常設展	区 分	小中学生	高校生以上	特別展	区 分	小中学生	高校生以上
	個人	無 料	200 円		個人	その都度市長が定める額	
	団体		100 円				

※ 団体は 10 名以上

7 資料受入状況

年 度	寄 贈		採 集		収 集 (購入)		計 (点数)
	件 数	点 数	件 数	点 数	件 数	点 数	
19	29	472	1	2,587	0	0	3,059
20	46	1,076	0	0	0	0	1,076
21	31	5,810	0	0	0	0	5,810
22	30	3,294	0	0	1	8	3,302
23	27	222	0	0	0	0	222

8 施設利用状況

年度	個 人			団 体			行事、他 人数	利用者 総 計
	幼中小	高校・ 一般	免 除	団 体	見学学 校等	視 察		
19	1,219	1,461	350	164	489	105	8,462	12,250
20	1,024	1,494	363	185	540	90	8,494	12,190
21	1,195	1,509	465	167	400	204	9,417	13,357
22	1,046	1,649	404	351	655	51	8,058	12,214
23	1,233	1,496	288	311	678	99	8,811	12,916

9 文化財一覧

(1) 国指定文化財

名称	所在地	指定面積	指定年月日	説明
天然記念物 名寄鈴石	緑丘109-4	40 a	昭和14年 9月7日	核となる粘土などに鉄分が殻のように巻き付いてできた褐鉄鉱の一種。拳ほどの大きさで、振ると音がするので「鈴石」と呼ばれる。
天然記念物 名寄高師小僧	瑞穂	23 a	昭和14年 9月7日	湿地に生育する植物の根などに鉄分が巻き付いてできた沼鉄鉱の一種。管状の形が多い。愛知県豊橋市高師ヶ原に多産。
名勝 九度山 (外ヶ岬ヶ原)	日進・ 智恵文	522 a	平成21年 7月23日	アイヌの人たちに祈りの山として伝承され、現在も市民に親しまれるアイヌ文化の景勝地。

(2) 市指定文化財

指定番号	名称	種別	所在地	指定年月日
第1号	風連獅子舞	無形文化財	瑞生下多寄神社	平成18年3月27日
説明	下多寄地区は明治36年頃より富山県からの移住者が多い。その関係で富山県東砺波郡井波町から獅子舞一式を持ち帰り、明治41年8月に神社創建新築落成を記念して奉納された。現在も「風連獅子舞保存会」により郷土芸能として受け継がれている。			
指定番号	名称	種別	所在地	指定年月日
第2号	グイマツ	天然記念物	東風連3395番地	平成18年3月27日
説明	大正2年頃、東風連の神野熊十郎が敷地内に植樹していたもので、大正9年水田への転換を記念して十数本を東風連小学校に寄贈した。うち1本が昭和8年の校舎改築記念樹として北玄関前に移植され大きく生育している。			
指定番号	名称	種別	所在地	指定年月日
第3号	名寄教会会堂	有形文化財	大通南2丁目	平成18年3月27日
説明	明治42年に建てられた現存する市内最古の洋風建築物である。会堂の建築は、小北木工場を営んでいた小北・西田家をはじめとするキリスト教信徒の寄付が支えとなった。建物正面の直線的な切妻破風と上部が丸い縦長窓が、洋風の印象を与えている。内部の長椅子は材を丸ごと利用している。			
指定番号	名称	種別	所在地	指定年月日
第4号	ミズナラ林	記念物	名寄公園	平成18年3月27日
説明	名寄公園を中心としたミズナラ林は、周辺を含め約10haにわたり、1,200本あまりが生育する。平均直径は約50cmで、樹齢は100年～150年と推定され、ほぼ純林的な林相をなしている。			

名寄市風連歴史民俗資料館

1 常設展示内容

<テーマ>

北限の農業 ～未開の大地と寒冷地農業への挑戦～
天塩とフーレバツの流れのなかで

1階

◇ エントランス・ロビーには樹齢400年以上のイタヤカエデの巨木（高さ16m太さ3m重さ6トン）が展示してあります。

◇ 一階展示室には風連の自然と人・古代の生活・未開の大地と寒冷地農業への挑戦・ふえる人口と町の発展・学校と子どもたち・便利になった毎日・今風連はと7つのテーマがあり、各テーマにあった展示がされております。その他に風連獅子舞などの展示コーナーがあります。

2階

◇ 収蔵展示室には昔のくらしを家の内・外観など昔の色々なものを展示しています。

2 入館者数

区 分	小学生	中学生	高校生	一 般	合 計
21年度	156人	0人	0人	36人	192人
22年度	32人	0人	0人	14人	46人
23年度	33人	0人	0人	50人	83人

3 名寄市風連歴史民俗資料館概要

(1) 所在地 名寄市風連町南町85番地2
(受付は風連公民館 TEL 01655-3-2531 FAX 01655-3-2321)

(2) 開館年月日 平成2年4月1日

(3) 主要施設

延床面積 645.76 m² (1階 258.635 m² 2階 387.125 m²)

1階

エントランス・ロビー 59.163 m²

常設展示室 176.750 m²

収 蔵 庫 55.980 m²

2階

特別展示室 102.750 m²

収蔵展示室 78.006 m²

4 利用案内

開館時間 午前9時～午後5時

休館日 土・日曜日、祝日、年末年始

観覧料 無 料

1 1 市立名寄図書館

1 平成24年度運営方針

市民の最も身近な学習活動を支援する教育施設として、利用者ニーズに即応した図書館機能の充実に努め、学習権の保障と資料並びに書誌情報の提供及び子どもの読書活動の推進を図ります。

2 平成24年度事業計画

(1) 図書館奉仕業務

事業区分	事業内容
蔵書の充実	蔵書の更新整備、資料の収集と迅速な提供、児童図書への充実によるサービスの向上
移動図書館	自動車文庫「やまゆり号」の巡回による市内全域へのサービスの充実 ・巡回：名寄地区25・風連地区6 合計31ステーション （名寄地区25の内14ステーションは月2回、4月から12月運行） ・配本：名寄地区4・風連地区2 合計6ヶ所（拘置所、遠隔地の保育所他） ・遠隔地の小中学校巡回時に、「読み聞かせ」を実施：各学校年1～2回 （名寄本読み聞かせ会、風連読み聞かせの会の協力）
障がい者支援	録音図書：ボランティア団体「声の図書会」との連携。図書の宅配
情報の収集・提供	レファレンスサービス・相互貸借の充実 ・北海道立図書館や市町村立図書館と連携し、図書館情報の収集・提供を図ると共に、図書資料の相互貸借により、利用者へ広範な資料提供を図る。 ・インターネット及び国立国会図書館や北海道立図書館のネットワークの活用を図る。 ・図書館ホームページ、市広報、FM放送等により利用情報を提供する。 発信情報内容：利用案内・蔵書検索・新着図書・雑誌案内・行事案内等

(2) 読書普及活動

① 子どもの読書普及

図書館ボランティア、幼児施設や学校等との連携推進を図り、子ども読書の推進を実施する。

- ・「子ども読書の日」や「こどもの読書週間」にちなんだ行事の開催
- ・名寄本館での行事開催
 - 幼児、児童、保護者を対象とした行事の定期開催（おはなしクラブ、ペンギンクラブ）
 - 夏休み、冬休みの行事や司書体験、図書館まつり等の開催
- ・風連分館での行事開催
 - 幼児、児童、保護者を対象とした行事の定期開催（おはなしポケット、おはなしタイム）
 - 季節毎（春夏秋冬）のおはなし会、司書体験等の開催
- ・読み聞かせ研修会の開催
- ・学校専用図書の貸出開始
 - ・読書感想文コンクールの実施
- ・名寄市内学校図書室、市立名寄図書館担当者会議の開催
 - ・子ども読書活動推進計画に基づく普及促進（第2次計画の実施）

② 一般向け読書の普及

図書館ボランティア等との連携を図り、市民から好評を得ている行事の開催や、図書館利用の促進及び読書普及のため、事業を企画実施する。

- ・ミニ展示コーナー（季節や話題をテーマとした本の展示） 随時開催
- ・古典文学講座「テーマ未定」 9～10月開催予定
- ・雑誌リサイクル 11月3日（文化の日）
- ・名寄市民文化講演会の開催（主催：実行委員会）

3 分類別蔵書冊数

(平成24年3月31日現在)

区分	総記	哲学	歴史	社会学	自然科学	技術	産業	芸術
名寄本館	3,716	2,537	6,581	12,807	5,309	6,461	2,782	7,067
風連分館	622	437	1,305	1,887	703	1,004	490	1,173
合計	4,338	2,974	7,886	14,694	6,012	7,465	3,272	8,240

区分	言語	文学	参考	大活字	児童	大型絵本	紙芝居	合計
名寄本館	1,041	32,559	5,117	207	29,033	60	840	116,117
風連分館	99	11,786	825	87	9,419	29	773	30,639
合計	1,140	44,345	5,942	294	38,452	89	1,613	146,756

4 市立名寄図書館施設概要

(1) 所在地 名寄市大通南2丁目 (TEL 2-4751 FAX 2-4897)

(2) 開設年月日 昭和45年8月1日

(3) 各室案内

延床面積 1,683㎡ (1階:591㎡ 2階:648㎡ 3階:379㎡ 4階:65㎡)

1階	2階	3階	4階
閲覧室	会議室	国際親善メモリアルホール	資料収納庫
新聞庫	北海道・名寄コーナー	学習室	
児童室	保存用閉架書庫		

※風連分館の施設概要はP60「名寄市児童センター 4 施設概要【風連児童会館】」に掲載

5 利用案内

(1) 本館 ①開館日 通常開館 火曜日～金曜日 9時30分～17時
 休日開館 土曜日・日曜日 9時30分～16時
 夜間開館 水曜日・木曜日 17時～20時

②特別開館日 11月3日(文化の日)

③休館日 月曜日・毎月末日・祝日・年末年始・特別整理日

(2) 風連分館 ①開館日 通常開館 月曜日～金曜日 9時30分～17時
 休日開館 土曜日 9時30分～16時

②特別開館日 11月3日(文化の日)

③休館日 日曜日・毎月末日・祝日・年末年始・特別整理日

12 なよろ市立天文台

1 平成 24 年度運営方針

地域の天文同好者・天体観測関係機関との連携を深め、天体観測並びに研究活動を通じ、市民への天文知識の普及と青少年に対する科学教育の振興を図る。

2 平成 24 年度事業計画

(1) 天文普及事業

- ・ 通常の直接観望（なよろ市立天文台）
- ・ 特別観望会（12 回開催予定、その他新天体が出現時等に随時実施）
- ・ 天文教室（季節ごとに開催、その他小中学校・一般団体の開催依頼は別途受付）
- ・ 移動式天文台車ポラリスⅡ号による出前観望会の実施
- ・ インターネット「なよろ市立天文台ホームページ」による情報提供
- ・ インターネットTV「きたすばるどっとこむ」の開設による情報発信

(2) プラネタリウム

- ・ 季節の星空解説
- ・ プログラム番組の投影
- ・ 学習・団体投影（学校・幼稚園・各団体）

(3) 調査・研究

- ・ 観測情報の収集（天体撮影・ビデオ収録）
- ・ 北海道大学大学院と連携した研究・観測
名寄市と北海道大学大学院理学研究科は、平成 17 年度に相互協力協定を締結
160 cm 光学赤外望遠鏡（北大設置）一般公開

(4) その他企画

- ・ きたすばる星と音楽の集い
- ・ 小学生による小惑星発見プロジェクト
- ・ 星と音楽の融合をテーマにした音楽イベントの開催

3 なよろ市立天文台施設概要

(1) 所在地 名寄市字日進 157 番地 1 (TEL 2-3956 FAX 2-0267)

e-mail kitasubaru@nayoro-star.jp URL <http://www.nayoro-star.jp>

(2) 開設年月日 平成 22 年 4 月 17 日

(3) 主要施設 建物面積 1036.75 m²

施設内容 プラネタリウム、屋上観測室、観測室、レクチャールーム、企画展示コーナー、事務室、応接会議室、更衣休憩室

機器 160 cm 光学赤外望遠鏡（愛称ピリカ：北大設置）
50 cm カセグレン望遠鏡、40 cm カセグレン望遠鏡 他

4 利用案内

- (1) 開館時間：火曜日～日曜日、祝日 13時～21時30分（4月～9月）
13時～20時00分（10月～3月）
- (2) 休館日：月曜日・祝日直後の休館日でない日
- (3) 入館料：小学生未満、障害者とその介助者、名寄市民で70歳以上は無料
- ・名寄市民特別料金
大人 400円 大学生 300円 高校生以下 無料
団体料金(10名以上) 大人 300円 大学生 200円
年間パスポート 大人 1,200円 大学生 1,000円
 - ・通常料金
大人 500円 大学生 400円 高校生～小学生 200円
団体(10名以上) 大人 400円 大学生 300円 高校生～小学生 100円
年間パスポート 大人 1,500円 大学生 1,200円 高校生～小学生 500円
- (4) 施設利用料
- ・望遠鏡
スライディンググループ内望遠鏡 口径50cm、口径40cm 望遠鏡、EM-500(各種鏡筒)、MS-5(各種鏡筒) 一晩3,000円
移動式望遠鏡 各種一晩 500円
 - ・部屋
レクチャールーム Aタイプ(約100人収容) 1時間 400円
Bタイプ(約50人収容) 1時間 200円
プラネタリウム占有利用 (常設席50席) 30分 200円
研究室一室 (一晩) 2,500円



1 審議会・委員会

◎会長、委員長

○副会長、副委員長

(平成24年5月1日現在)

育英奨学審議委員会 (任期 ~26.3.31)

白井慶子 (学識経験者)
土肥哲哉 (教育関係者)
千原治 ()

古瀬登美子 (学識経験者)
関根智子 (民生委員)
笹原博幸 ()

就学指導委員会 (任期 ~26.3.31)

室野晃一 (医師)
大友由紀子 (学識経験者)
○糸田尚史 ()
◎金子謙治 (関係教育機関)
塚澤栄一 ()
染木圭男 ()
松井清隆 ()
東谷文昌夫 ()
菊池ゆかり ()
高川寛子 ()
中川眞紀美 ()
関末貴 ()
安彦修 ()
菅原啓子 ()
能祖陽一 ()
坂井恭子 ()

大西陵公 (関係教育機関)
野田有希子 ()
関雅史 ()
町田みどり ()
山崎省三章 ()
北山雅朋 ()
白宮石崎実望 ()
大坪谷和範 ()
蟹谷正美宏子 ()
加藤智紀恭子 ()
柳谷千恵子 (福祉関係)
高橋良子 ()
吉川郁子 ()
渡邊里佳 (行政機関)

学校給食センター運営委員会 (任期 ~26.3.31)

◎山崎眞由美 (学識経験者)
○中村耕司 (PTA)
川清 (学識経験者)
長谷部幸子 ()
川田和也 ()
山田上瞳 ()
田村啓一 (学校長)
鷹合勇 ()

松井清隆 (学校長)
上村亮夫 ()
東文佳子 ()
佐藤和佳子 (PTA)
塩田千恵美 ()
鈴木真理 ()
湯川孝一 ()

社会教育委員の会 (任期 ~26.3.31)

◎大坂祐二 (学識経験者)
○宮澤好輝 (社会教育)
○宮本幸子 (学識経験者)
塚澤栄一 (学校教育)
牧野裕三 ()
千原治一 ()
湯川孝一 (社会教育)
若槻孝五郎 ()
山崎巧繕 ()

早川正一 (学識経験者)
中村洋子 ()
秋山優香 ()
松本香昇 ()
宮崎敬市 ()
新井田絹代 ()
上口里美 ()
橋本正弘 ()
吉田征子 (家庭教育)

生涯学習推進アドバイザー

桑原隆太郎 又村靖子

蓑輪千恵

名寄市教育振興審議委員会

藤平 民世	(文化団体)	竹内 利行	(学識経験者)
佐藤 時男	(")	笠井 信	(")
水島 寿昌	(スポーツ団体)	湯川 孝一	(")
菊地 弘美	(")		

名寄市公民館運営審議会及び市民文化センター運営委員会

並びに多目的研修センター運営委員 (任期 ~26.3.31)

◎室 篤 宏	(学校教育)	島影 道子	(社会教育)
○池 田 俊行	(学識経験者)	室 資 祁子	(")
小 西 信輝	(学校教育)	鈴木 裕	(学識経験者)
田 邊 孝次	(")	沼澤 広視	(")
竹 田 拓二	(社会教育)	矢 吹 祐子	(")

名寄市風連公民館運営審議会並びにふうれん地域交流センター運営委員 (任期 ~26.3.31)

◎山下 則之	(学識経験者)	寺田 仁志	(学識経験者)
○牧野 裕三	(学校教育)	齋藤 仁司	(")
東 文 夫	(")	林 秀典	(")
松 樹 恒史	(学識経験者)	佐藤 富雄	(")

名寄市児童館運営委員会 (任期 23.4.1~25.3.31)

◎小 西 信輝	(教育関係者)	後藤 裕子	(利用保護者)
○佐藤 ヒデ子	(利用保護者)	和田 祐佳	(")
染 木 圭男	(教育関係者)	藤井 かおり	(")
佐藤 栄	(学識経験者)	滋野 妃呂子	(")
中 村 耕司	(")	柳 谷 千恵子	(学識経験者)

名寄市児童クラブ運営委員 (任期 23.4.1~25.3.31)

◎小 西 信輝	(教育関係者)	後藤 裕子	(利用保護者)
○佐藤 ヒデ子	(利用保護者)	和田 祐佳	(")
染 木 圭男	(教育関係者)	藤井 かおり	(")
佐藤 栄	(学識経験者)	滋野 妃呂子	(")
中 村 耕司	(")	柳 谷 千恵子	(学識経験者)

名寄市青少年問題協議会委員 (任期 ~26.3.31)

◎加藤 剛士	(関係行政機関)	檜山 秀明	(学識経験者)
○藤田 健慈	(学識経験者)	松井 清隆	(")
○田中 多喜子	(")	土肥 哲哉	(")
小野 浩一	(関係行政機関)	田邊 孝次	(")
大竹 純雄	(")	宮澤 好輝	(")
三国 和子	(学識経験者)	宮本 幸子	(")
上 村 亮	(")	吉原 敦子	(関係行政機関)

名寄市博物館協議会 (任期 ~26.3.31)

◎山中 政信	(学識経験者)	佐藤 源嗣	(学識経験者)
○又村 秀浩	(")	中島 真美	(")
金子 謙治	(")	小林 宏	(")
谷 井 八重子	(")		

名寄市文化財審議会（任期 ～26. 3. 31）

◎ 山中 政信（学識経験者）
 ○ 又村 秀浩（"）
 金子 謙治（"）
 谷井 八重子（"）

佐藤 源嗣（学識経験者）
 中島 真美（"）
 小林 宏宏（"）

名寄市図書館協議会（任期 ～26. 3. 31）

◎ 松下 一也（学識経験者）
 ○ 田村 悦子（"）
 田村 啓一（学校教育）
 工藤 久美子（学識経験者）

倉本 邦子（学識経験者）
 益塚 代美子（"）
 加藤 紀子（幼稚園代表）

名寄市スポーツ推進委員（任期 ～26. 3. 31）

◎ 安達 啓治（学識経験者）
 ○ 名越 隆治（"）
 日光 美千代（"）
 川村 茂樹（"）
 井元 和正（"）
 高橋 浩一（"）
 上野 敬典（"）
 杉野 敦（"）

中尾 肖嗣（学識経験者）
 大野 洋子（"）
 塗土 裕子（"）
 横山 みゆき（"）
 杉本 周子（"）
 百武 子学（"）
 平間 大介（"）
 山田 由紀（"）

名寄市スポーツ推進審議会（任期 ～26. 3. 31）

◎ 熊谷 守（学識経験者）
 ○ 関 朋昭（"）
 塚澤 栄一（"）
 遠藤 光博（"）
 佐藤 時男（"）
 安澤 豊（"）
 石原 祥子（"）

河本 宏明（学識経験者）
 柿川 美智子（"）
 和久 朋行（"）
 高橋 雅樹（"）
 奥田 政章（"）
 藤井 晶美（"）

なよろ市立天文台運営委員会（任期 ～26. 3. 31）

◎ 播本 雅津子（学識経験者）
 ○ 小山 均（社会教育）
 大谷 秀二（学識経験者）

高橋 直樹（社会教育）
 小西 信輝（学校教育）
 高谷 恵美子（学識経験者）

2 旧名寄市教育の沿革

年 代	西 暦	特 記 事 項
寛政10.	7. *	1798 幕府の属僚3名天塩川を遡り見聞す
明治 5.	10. 8	1872 上川地方(名寄)の実情調査さる。宗谷支庁佐藤正克技師
	30. 6. 1	1897 上名寄村(現名寄市)の称号を得る。
	35. 9. 1	1902 3村戸長役場庁舎新築落成開庁(大通1丁目)
	9. 15	上名寄簡易教育所開設(M37 上名寄尋常小学校、M39 名寄尋常高等小学校、S16 名寄国民学校、S22 名寄小学校と改称) 教育の嚆矢である
	36. 4. 8	1903 チェブン簡易教育所開設(M37 智恵文簡易教育所、M41 智恵文尋常小学校、T7 智恵文尋常高等小学校、S16 智恵文国民学校、S22 智恵文小学校と改称)
	37. 7. *	1904 曙簡易教育所開設(M41 曙尋常小学校、S16 曙国民学校、S22 曙小学校と改称)
	38. 7. 1	1905 上名寄五線簡易教育所開設(M41 上名寄五線教育所、M43 上名寄五線尋常小学校、T9 中名寄尋常小学校、S16 日彰国民学校、S22 日彰小学校、S24 中名寄小学校と改称)
	39. 4. *	1906 有利里簡易教育所開設(M41 有利里教育所、T6 有利里尋常小学校、S16 瑞徳国民学校、S22 瑞穂小学校と改称)
	6. 20	十八線簡易教育所開設(M41 十八線教育所、T6 十八線尋常小学校、S16 共和国国民学校、S22 共和小学校と改称)
	42. 1. 17	1909 曙尋常小学校所属ハッチャシナイ特別教授場開設(M43 初茶志内教育所、T6 初茶志内尋常小学校、S16 弥生国民学校、S22 弥生小学校と改称)
	5. 28	智南教育所開設(T6 智南尋常小学校、S16 智南国民学校、S22 智南小学校と改称)
	43. 12. 12	1910 智東教育所開設(T6 智東尋常小学校、S16 智東国民学校、S22 智東小学校と改称)
大正 5.	4. 1	1916 智恵文尋常小学校所属智北特別教授場開設(T7 智恵文尋常高等小学校智北特別教授場、T13 智北尋常小学校、S16 智北国民学校、S22 智北小学校と改称)
	6. 1	名寄尋常高等小学校日進分教場開設(S16 名寄国民学校日進分教場、S22 名寄小学校日進分校、S32 日進小学校と改称)
	7. 4. 1	1918 名寄尋常高等小学校内淵特別教授場開設(T11 名寄尋常高等小学校内淵分教場、S16 名寄国民学校内淵分教場、S22 名寄小学校内淵分校と改称)
	4. 1	智東尋常小学校所属上智恵文特別教授場開設
	8. 7. 15	1919 智恵文尋常高等小学校所属智西特別教授場開設(T13 智西尋常小学校、S16 智西国民学校、S22 智西小学校と改称)
	9. 6. 28	1920 名寄女子職業学校開校
	11. 4. 1	1922 北海道庁立名寄中学校開校(S22 北海道立名寄中学校、S23 北海道立名寄高等学校、S25 北海道名寄高等学校と改称)
	7. *	名寄教会幼稚園開設(現 名寄幼稚園)
	13. *. *	1924 智東尋常小学校所属上智恵文特別教授場廃止、本校に統合
	9. 4	名寄南尋常小学校開校(S16 名寄国民学校、S22 名寄南小学校と改称)
	10. 16	智南尋常小学校校舎全焼
	14. 11. 1	1925 智恵文女子実業補習学校開校(S3 智恵文実科女学校、S10 智恵文青年学校女子部と改称)
	11. 7	名寄町処女会発足
	15. 4. 1	1926 青年訓練所令により各学校に青年訓練所併置
	7. 1	智恵文尋常高等小学校所属北山特別教授場開設(S4 北山尋常小学校、S16 北山国民学校、S22 北山小学校と改称)
昭和 2.	4. 26	1927 名寄町立名寄高等女学校開校(S5 北海道庁立名寄高等女学校、S22 北海道立名寄高等女学校、S23 北海道立名寄女子高等学校、S25 北海道名寄高等学校と改称)

年 代	西 暦	特 記 事 項
昭和 3. *. *	1928	名寄女子連合青年団発足
5. 6. *	1930	智恵文女子青年団発足
6. 11. *	1931	曙尋常小学校新築移転
8. *. *	1933	東山シャンツェ完成
10. 4. 1	1935	青年学校令により各学校に青年学校併置（実業補習学校、青年訓練所を併合）
12. 10. 16	1937	北海道庁立名寄中学校全焼
14. 9. 7	1939	名寄鈴石、名寄高師小僧、国の天然記念物に指定
15. 11. 19	1940	曙尋常小学校全焼
16. 1. 20	1941	名寄町青年団発足（男女青年団解散）
4. 20		名寄町青少年団発足
4. 21		北海道庁立名寄農業学校開校（S23 北海道立名寄農業高等学校、S24 北海道名寄農業高等学校 と改称）
6. 15		智恵文青少年団発足
20. 10. 1	1945	田辺服装塾、名寄衣料裁断研究会（後の名寄服飾専門学校）開校
21. 6. 12	1946	名寄洋裁学校開校
22. 3. *	1947	名寄文化協会設立
4. 1		名寄女子職業学校募集停止
5. 20		名寄中学校開校{本校(名寄小学校)、分校:大橋(旧制名寄中学校)、旭東(旧制名寄高等女学校)、日彰(日彰青年会館)、瑞穂(瑞穂小学校)}
6. 1		智恵文中学校開校（分校：旧制智南小学校）
23. 1. 10	1948	名寄町公民館設置（26年6月27日開館）
3. 31		名寄中学校大橋分校、旭東分校廃止
4. 1		名寄中学校北分校設置
4. 1		名寄文化服装女学校開校
10. 1		名寄農業高等学校定時制課程（普通科・農業科）設置
10. 5		飯塚洋裁学院（後の飯塚ドレスメーカー女学院）開校
24. *. *	1949	加藤学園（後の名寄服飾専門学校）開校
4. *		田辺服装塾閉鎖
5. 13		体育指導委員会発足
8. 15		名寄町公民館図書室開設
25. 1. 15	1950	名寄地方体育クラブ発足
4. *		名寄女子高等学校、名寄高等学校に統合
7. 3		名寄南小学校に養護教室設置
7. 13		名寄小学校が道教委の学校給食モデル校として指定
9. 13		名寄カトリック愛児園（後の名寄カトリック幼稚園）開園
10. 1		北海道洋裁専門女学校名寄分校（後の北海道文化服飾名寄専門学校）開校
26. 1. 1	1951	中名寄中学校として独立（名寄中学校日彰分校）
1. 25		名寄小学校御園分校設置
4. 1		北海道名寄農業高等学校智恵文分校設置（S27 北海道智恵文高等学校、S33 北海道名寄北高等学校 と改称）
4. 1		名寄農業高等学校に酪農科増設
4. 1		名寄中学校旭東分校復活
4. 1		名寄中学校北分校廃止
7. 24		名寄農業高等学校定時制農業科、季節制に改組
27. 2. 22	1952	曙小学校校舎全焼
4. *		智恵文公民館開設
4. 1		智南中学校として独立（智恵文中学校智南分校）
4. 14		名寄文化服装学校開校
8. 20		名寄東中学校として分離（名寄中学校）
10. 1		名寄小学校東分校設置
11. 1		教育委員会発足

年 代	西 暦	特 記 事 項
昭和28. 4. 1	1953	名寄町立家政高等学校開校（S35 名寄女子短期大学附属高等学校、S53 名寄恵陵高等学校と改称）
4. 1		瑞穂中学校として独立（名寄中学校瑞穂分校）
4. 1		名寄農業高等学校定時制課程普通科、名寄高等学校に移設
28. *. *	1953	名寄文化服装女学校廃校
8. 1		名寄町民学校開校
9. 18		名寄体育協会結成
11. 1		道立図書館分館開館
29. *. *	1954	名寄町体育館建設
6. 1		移動図書館あけぼの号巡回開始
8. 1		智恵文村と合併、新名寄町発足
12. 1		名寄小学校内測分校廃止、スクールバス通学開始
30. *. *	1955	名寄南小学校グラウンドにスケートリンク開設
4. 1		名寄高等学校に商業科設置
4. *		名寄小学校、視聴覚教室の研究指定校に指定
8. 1		名寄町営球場完成
31. 4. 1	1956	名寄市市制施行（全道21番目）
32. 4. 1	1957	日進小学校開校（名寄小学校日進分校と東分校が統合）
7. 24		智北小学校改築落成
11. 1		名寄市学校教育指導委員会発足（委員15名）
33. 1. 19	1958	名寄市文化団体連絡協議会設立（後の名寄市文化協会）
4. 1	1958	名寄市視聴覚教育センター発足
4. 1		名寄東小学校開校（名寄小学校御園分校を名寄東小学校御園分校と改称）
4. 10		光名幼稚園開園
5. 30		名寄家政高等学校寄宿舎落成
7. 15		名寄北高等学校校舎新築
8. 31		第1回市民レクリエーション大会開催
11. *		第1回市民文化祭開催
34. 4. 1	1959	名寄西小学校開校
4. 1		名寄小学校に知的障害児学級設置
4. 6		大谷幼稚園開園
35. 4. 1	1960	名寄女子短期大学開学（H2 市立名寄短期大学と改称。）
36. 4. 1	1961	市立名寄図書館設置
5. 15		名寄市体育協会設立
37. *. *	1962	緑丘シャンツェ開設
		名寄文化服装学校廃校
4. *		名寄小学校、名寄南小学校完全給食開始
6. 1		名寄市民会館新築落成
10. 1		青少年補導センター設置
38. 4. 1	1963	名寄高等学校に工業課程設置（電気科、機械各科1間口）
5. 5		第1回ピヤシリ子ども会大会・少年の日制定
10. 1		名寄西小学校肢体不自由児学級、マザーズホーム併設
10. 1		瑞穂中学校、名寄東中学校に統合
10. 1		名寄市青少年武道場開設
		菊山スキー場、市営となる
39. 9. 22	1964	名寄市教育研究所設立
11. 11		名寄市勤労青少年ホーム開所
40. *. *	1965	飯塚ドレスメーカー女学院廃校
10. 7	1965	名寄女子短期大学図書館落成
10. 20		名寄小学校校舎改築落成（市内で初めてのコンクリート造り）
12. *		名寄市学校給食センター完成

年 代	西 暦	特 記 事 項
昭和41. 4. 1	1966	名寄農業高等学校に生活科設置
4. 1		名寄高等学校商業課程廃止
4. 1		社会科副読本「なよろ」発行
4. 25		学校給食センター市内全小中学校に給食開始
42. 4. 1	1967	名寄高等学校に工業過程建築科増設
4. 1		名寄農業高等学校林業科募集停止
7. 1		新名寄市営球場竣工ならびに球場開き
7. 15		名寄市営プール開設（現西プール）
12. 15		青少年会館落成（43.1.5 開館）
43. 3. 27	1968	名寄東小学校御園分校廃止
4. 1		智南中学校、名寄東中学校に統合
44. 3. 31	1969	名寄北高等学校廃校
45. 4. 1	1970	名寄南小学校、共和小学校、曙小学校3校統合（新名寄南小学校開校）
4. 1		名寄南小学校共和分教室、曙分教室設置
7. 31		名寄市プラネタリウム館完成
8. 1		市立名寄図書館落成開館
8. 1		市内辺地小中学校対象の巡回児童文庫開始
12. 30		ピヤシリシャンツェ完成（70M級）
46. 3. 28	1971	第1回ピヤシリジャンプ大会（笠谷優勝 80M）
4. 1		中名寄中学校、名寄中学校に統合
9. *		やまゆり号による市内巡回文庫開始
47. 1. 20	1972	名寄南小学校統合新校舎
4. 1		智東小学校、名寄南小学校に統合
4. 1		名寄南小学校共和分教室、曙分教室廃止
9. 6		第21回全国僻地教育研究大会第6分科会開催（於日進小学校6～8日）
48. 1. 20	1973	名寄市働く婦人の家開設
4. 1		視聴覚ライブラリー発足（名寄市視聴覚教育センターを吸収）
8. 14		名寄市営南プール開設（ビニール屋根付25m）
12. 23		国設ピヤシリスキー場開設
12. *		私設木原天文台開設
49. 1. 28	1974	名寄西小学校（現豊西小学校）に言語治療教室開設
4. 1		豊西小学校開校
50. 2. 9	1975	第24回全国高等学校スキー選手権大会開催
4. 1		名寄スポーツセンター落成、開館
4. 1		名寄工業高等学校開校（名寄高等学校工業過程が分離）
51. 4. *	1976	豊西小学校言語治療教室に難聴教室併設
6. 18		全日本軟式卓球選手権大会（18～20日）
6. 30		智恵文簡易プール開設
52. 4. 1	1977	智西小学校、北山小学校、智恵文小学校に統合
5. 2		キマロキ編成名寄公園に展示
53. 4. 1	1978	弥生小学校、名寄南小学校に統合。瑞穂小学校、名寄西小学校に統合
12. 15		名寄中学校校舎移転改築完成（52・53年度2ヵ年事業）
12. 16		名寄スポーツセンター第2体育館開館
54. 1. 21	1979	スキーを市技に指定
2. 17		第34回国民体育大会冬季大会スキー競技会開催（17日～20日ピヤシリスキー場）
4. 1		名寄南小学校に情緒障害学級設置
4. 1		智南小学校、名寄西小学校に統合
7. 16		天塩川右岸、左岸、埋蔵文化財発掘調査
10. 1		第1回スポーツフェスティバル（スポーツセンター）
10. 31		名寄市営庭球場完成（コート6面、管理棟）

年 代	西 暦	特 記 事 項
昭和54. 12. 26	1979	市立名寄図書館郷土資料室展示分室開設（旧消防署）
55. * . *	1980	名寄市社会教育推進協議会発足
2. 16		スキー市技指定、国体開催記念第1回名寄市雪の祭典(16～17日)
4. 1		名寄恵陵高等学校家政科2間口を普通科に転換
5. 13		「名寄ピヤシリ大学」開設
5. 22		「友朋学級」開設
8. 1		「フーコーの振子」開設
8. 17		土俵場完成（スポーツセンター南庭）
56. 4. 1	1981	名寄女子短期大学家政科を家政専攻課程、栄養専攻課程に分離
4. 1		豊西小学校言語治療教室、南小学校情緒障害児学級に市幼児ことばの教室併設
5. 30		名寄岩躰彰像除幕式
57. 3. 20	1982	名寄東中学校校舎完成
3. 21		智北小学校、智恵文小学校に統合
3. 31		名寄農業高等学校定時制閉課
4. 1		小学校通学区の一部変更（西町3区が豊西小に）
4. 1		智恵文地区公民館が智恵文公民館に独立
4. 1		名寄職業訓練校が高等職業訓練校に昇格
7. 3		天塩川河川サッカー場オープン
12. 14		名寄工業高校校舎完成
58. 6. 1	1983	小中学校生徒指導協議会発足
6. 27		名寄高等職業訓練校校舎落成記念式典
7. 31		名寄市民文化センター完成(社会教育課、市民会館から移転)
11. 22		郷土資料室移転（大通北1、旧消防署庁舎）
59. 3. 24	1984	名寄恵陵高等学校校舎完成、移転
4. 1		日進小学校、名寄小学校に統合
4. 1		名寄女子短期大学、児童専攻課程設置
12. *		名寄農業高等学校校舎完成
60. 7. 1	1985	名寄スポーツセンターが道体協から名寄市に移管され「名寄市スポーツセンター」となる
7. 1		旧名寄恵陵高等学校体育館を一部改修し「北体育館」として一般に開放
8. 20		移動図書館車「やまゆり号」購入
61. 3. 25	1986	第64回全日本スキー大会（滑降競技大会 25～27日）
5. 31		名寄市シニアリーダーサークル（NAC）発会
7. 10		スーポロ碑建立
12. 12		智恵文中学校改築
62. 9. 26	1987	道立近代美術館所蔵秀作展（北海道を画く）（9/26～9/30）（文化センター）
10. 20		理科副読本「郷土の自然なよろ」発行
12. 5		中名寄小学校改築
平成元. 2. 19	1989	はまなす国体歩くスキー大会
6. 25		札幌グリーンコンサート
7. 28		体験王国ほっかいどう
9. 4		名寄東小学校起工式
2. 4. 1	1990	名寄女子短期大学、市立名寄短期大学に改称
4. 1		名寄農業高等学校生活科を生活科学科に学科転換
6. 9		名寄海洋センター（プール）完成
6. 28		名寄市麻生ゲートボール場完成（3面）
7. 25		第34回全道公民館大会開催
8. 25		名寄市麻生テニスコート増設完成（オムニ式2面）
11. 18		開基90周年記念 ベートーベン第9交響曲特別演奏会
11. 25		名寄東小学校校舎落成・開校33年記念協賛会記念式典
3. 2. 7～9	1991	第28回全国中学校スキー大会開催

年 代	西 暦	特 記 事 項
平成 3.	8. 4	1991 土俵移設記念土俵開き（入母屋造り、銅板ぶき）
	12. 24	名寄市学校給食センター改築
4.	1. 19	1992 名寄市新学校給食センター供給開始
	4. 1	名寄中学校に情緒学級開設
	4. 20	児童センター開館
	9. 11	名寄市立木原天文台開設（市へ寄贈）
	9. 12	学校週 5 日制開始
	11. 19	スポーツセンター大改修完了
5.	3. 31	1993 スポーツセンター第 2 体育館増築（302.4 m ² ）
	4. 1	小学校社会科副読本「なよろ」全面改定版発行
	6. 30	智恵文中学校水泳プール全面改修
	7. 1	図書館日曜開館
	9. 30	西小学校校舎改築落成
	12. 15	名寄市民文化センター開館10周年記念事業“所蔵絵画展”開催
6.	4. 1	1994 名寄短期大学看護学科（入学定員50名）開設
	4. 1	名寄恵陵高校家政科が生活文化科へ学科転換
	8. 5～8	山形県藤島町へ少年少女の交流団訪問
	8. 6	大関「名寄岩」生誕80周年記念事業開催
	11. 30	ピヤシリシャンツェ・ミディアムヒル造成工事完成
7.	3. 31	1995 菊山スキー場閉鎖
	4. 1	名寄工業高等学校、機械科募集停止、電子機械科新設
	11. 16	名寄市営球場改修工事完成
8.	*. *	1996 北海道文化服装名寄専門学校廃校
	2. 10	北国博物館開館
	4. 1	名寄農業高等学校生活科学科募集停止、農業科を農業・生活科に学科転換
	4. 1	教育相談電話「ハートダイヤル」開設
	5. 26	なよろ健康の森陸上競技場オープン
9.	4. 1	1997 (財)名寄市体育協会に管理委託（海洋センター、南・西・智恵文プール、市営球場、テニスコート、北体育館）
	5. 13	名寄市学校給食センター衛生管理推進地域指定(文部省より3ケ年)
	6. 12	第36回全道博物館大会開催
	8. 15	博物館大型資料収蔵庫開設
	10. 26	名寄中学校開校50周年記念式典
	11. 30	智恵文中学校開校50周年記念式典
10.	*. *	1998 名寄服飾専門学校休校
	2. 3	名寄図書館と北海道道立図書館間コンピュータオンライン化
	4. 1	(財)名寄市体育協会に管理委託（スポーツセンター、ジャンプ台）
	4. 11	南児童クラブ開設
	6. 11	名寄南小学校に肢体不自由児学級設置
	7. 1	名寄市教育振興協議会発足
	10. 20	名寄小学校校舎竣工
11.	4. 1	1999 特認校制度スタート
	6. 2	図書館水木夜間開館試行開始
	10. 3	名寄西小学校40周年記念式典
	10. 12	小学校 7 校にコンピュータ導入
12.	3. 1	2000 恵陵高校生徒募集停止
	3. 24	名寄工業高等学校廃止
	4. 12	名寄光凌高等学校新設
	5. 16	なよろ健康の森あかげらパークゴルフ場オープン
	8. 1	名寄市開拓 100年記念式典
	9. 24	カトリック幼稚園設立50周年式典

年 代	西 曆	特 記 事 項
平成12. 10. 1	2000	恵陵高校創立80周年記念式典及び祝賀会
10. 20		中学校3校コンピュータ更新
10. 27		市立名寄短大開学40周年記念構成劇「明日を拓く名寄短大」
13. 9. 1	2001	市教委でリーダーバンク設置
14. 3. 1	2002	名寄光凌高等学校電気科、建築科閉科
3. 31		名寄恵陵高等学校閉校
4. 1		完全学校週5日制開始
6. 8		名寄公園パークゴルフ場オープン
7. 3		北国博物館入場者10万人達成
7. 18		学校評議員制度導入（名寄小・名寄中）
9. 1		名寄東中学校50周年記念式典
9. 22		名寄小学校100周年記念式典
10. 1		ピヤシリシャンツェノーマルヒル改修
10. 19		名寄高等学校80周年記念式典
15. 2. 22	2003	第58回国民体育大会冬季大会スキー競技会開催
5. 13		学校評議員制度拡大（名寄南小・名寄西小・名寄東中）
16. 3. 8	2004	図書館蔵書インターネット検索システム稼動
8. 7		中名寄小学校開校100周年記念式典
9. 1		市営テニスコート改修（オムニコート2面、グリーンサントコート4面、夜間照明2基、観覧席）
10. 24		名寄南小学校開校80周年記念式典
11. 27		智恵文小学校開校100周年記念式典
17. 2. 10	2005	豊西小学校開校30周年記念集会
17. 12. 9		北海道大学大学院理学研究院と名寄市との相互協力協定締結

3 旧風連町教育の沿革

年 代	西 暦	特 記 事 項
明治35. 3. *	1902	20線基線の今川良策が、自宅に子どもを集めて教育を始める
9. 25		下多寄簡易教育所開設 (S38 下多寄尋常小学校、S16 下多寄国民学校、S18 高等科併置、S22 下多寄小学校と改称)
36. 11. *	1903	部落民の寄付により25線東7号に教場設置
37. 1. 20	1904	フーレベツ簡易教育所開設 (同年 風連簡易教育所、M39 風連尋常小学校と改称)
41. 10. 19	1908	西風連尋常小学校設置 (T5 高等科併置、T11 風連尋常高等小学校、S16 風連国民学校、S22 風連小学校と改称)
11. 3		フーレベツ特別教授所開設 (M45 風連尋常小学校、T11 風連旭尋常小学校、S16 風連旭国民学校、S18 高等科併置、S22 風連旭小学校と改称)
11. 24		風連教育所開設 (M43 風連御料尋常小学校、T13 日進尋常小学校、S4 日進尋常高等小学校、S16 日進国民学校、S22 日進小学校と改称)
42. 7. 30	1909	西風連尋常小学校校舎新築移転
10. 23		東風連尋常小学校設置 (S16 東風連国民学校、S18 高等科併置、S22 東風連小学校と改称)
44. 7. 12	1911	下多寄尋常小学校附属西特別教授所開設 (T5 西多寄尋常小学校、S16 西多寄国民学校、S17 高等科併置、S22 西多寄小学校、S27 中学校併置に伴い西多寄小中学校、S36 西風連小中学校、S59 中学校閉校に伴い西風連小学校と改称)
8. 27		東風連尋常小学校校舎移転新築
大正11. 9. 13	1922	多寄村連合青年団結成
15. *. *	1926	青年訓練所設置
昭和 3. 11. *	1928	風連家政女学校開設
4. 11. 1	1929	下多寄尋常小学校校舎改築
6. 10. 3	1931	風連尋常高等小学校校舎改築
7. 5. 22	1932	東風連尋常小学校忠烈布特別教授所開所 (S19 忠烈布国民学校、S22 忠烈布小学校、S27 中学校併置に伴い忠烈布小中学校と改称)
7. *		裁縫教授所開所 (後の加藤学園)
8. 11. *	1933	日進尋常高等小学校校舎改築
12. 17		風連旭尋常小学校校舎改築
10. *	1935	青年学校設置
11. 9. 11	1936	西多寄尋常小学校校舎新築移転
14. 7. *	1939	青年学校義務制となる
16. 4. 1	1941	尋常小学校が国民学校に改められる (初等科6年、高等科2年)
21. 8. *	1946	風連村連合青年団設立 岩見沢昭和洋裁女学院風連分院開設 (後の高橋洋裁女学院)
22. 4. 1	1947	国民学校が小学校に改められ高等科廃止 風連中学校設置、風連小学校に併設
5. 1		下多寄、風連旭、東風連、西多寄、日進の各小学校に風連中学校の分校を併置
23. 10. 28	1948	風連連合婦人会設立
12. 15		風連中学校校舎新築
24. 4. 1	1949	各小学校に併置されていた風連中学校の分校が日進以外廃止 風連村公民館設置
11. 1		東生小学校設置
25. 8. 25	1950	忠烈布小学校に風連中学校分校併設
11. 1		日進中学校設置
26. 1. 15	1951	名寄農業高等学校風連分校開校 (S28 風連高等学校と改称)
12. *		日進中学校校舎新築移転
27. 4. 1	1952	西多寄中学校設置 (西多寄小に併置)

年 代	西 曆	特 記 事 項
昭和27. 4. 1	1952	忠烈布中学校設置（忠烈布小に併置）
11. 1		風連村教育委員会設置
28. 4. 1	1953	「風連町教育是」制定
5. 3		第1回名寄～風連間憲法発布記念マラソン大会（風連→名寄）
29. 5. 10	1954	風連幼稚園開設
30. 11. 26	1955	西多寄小中学校全焼
*		風連町父母と先生の会連合会設立
31. 10. 2		西多寄小中学校新築
*		風連町児童生徒校外補導協議会設立
34. 10.	1959	第1回健民大運動会
11. 12		下多寄小学校新築落成
37. 1. 24	1962	風連町若妻会設立
9. *		忠烈布小学校開校30周年・同中学校開校10周年記念武典
39. 3. 31	1964	忠烈布小中学校閉校（小学校は東風連小学校、中学校は風連中学校に統合）
		風連高等学校道立移管
4. 11		風連中学校全焼
5. 29		風連町中核農民学校開校
10. 3		風連中学校校舎落成式
40. 4. *	1965	風連町連合青年会設立
7. *		町営プール完成
*		婦人学級・家庭教育学級開設
41. 1. 31	1966	風連町体育協会設立
42. 2. *	1967	町内初のスケートリンク造成
6. *		消防本部2階を公民館図書室として開設
43. 12. *	1968	風連町営スキー場開設
45. 3. *	1970	近藤育英基本条例制定
7. *		日進小学校に簡易プール完成
45. 11. *	1970	町営ヒュッテ建設
46. 3. 31	1971	東生小学校閉校（日進小学校に統合）
4. 1		風連中央小学校設置（風連小学校と風連旭小学校が統合）
7. *		風連町スポーツ少年団本部設立
		風連町子ども会育成連絡協議会設立
12. *		風連町新生活運動推進委員会設立
47. 6. 30	1972	風連町公民館講座「風連町老人大学」開講（S53 瑞生大学と改称）
7. *		町内7カ所史跡標示板を設置
9. *		全国へき地教育研究大会開催
9. 12		風連旭小学校及び風連中央小学校風連旭分教室閉校式
12. 7		風連小学校閉校式
12. 14		風連中央小学校校舎新築落成
48. 1. 20	1973	風連中央小学校開校式
7. *		初の屋根付き町営プール完成
9. 2		学校給食センター完成
10. 1		町内小中学校の学校給食スタート
10. 30		東風連小学校校舎完成
49. 4. 1	1974	米飯給食の開始（完全給食）
50. 5. *	1975	旭公民館に「愛の鐘」設置
10. *		風連町青少年研修センター及び風連町児童会館完成
52. 5. *	1977	風連町婦人団体連絡協議会設立
11. 8		日進小中学校校舎改築落成
53. 2. *	1978	風連町連合婦人会結成30周年記念式典
		第1回北部北海道ジュニアスピードスケート大会

年 代	西 暦	特 記 事 項
昭和53. *	1978	日進小学校と日進中学校が併置校となる
5. *		教育委員会にマイクロバス導入
54. 7. *	1979	町営球場完成
* *		風連町陶芸センター完成
9. *		ノンプロ招待野球大会（開基80周年記念行事）
55. 10. *	1980	風連の未来を築く会設立
		旧役場庁舎を武道場として改修
56. 9. *		西風連小学校開校70周年及び中学校開校30周年記念式典
12. *		風連中央小学校グラウンドに333.3mの公認スケートリンク造成
		町営スキー場に20m級ジャンプ台新設
57. 8. *	1982	第1回町民運動会
10. *		風連町生徒指導連絡協議会設立（平成4年に生徒指導推進協議会に改称）
59. 3. 31	1984	西風連中学校閉校（風連中学校に統合）
10. *		風連町連合青年会創立20周年記念式典
60. 11. *	1985	町営第2球場完成
61. 4. *	1986	風連町日進剣道スポーツ少年団設立
62. 6. *	1987	風連町新生活運動推進会議設立
9. 2		風連中学校に教育用コンピュータ導入（47台）
10. *		東地区ゲートボール場完成
11. 7		風連高等学校校舎改築落成記念式典
12. *		風連町就学指導委員会設立
63. 5. *	1988	東地区運動広場にテニスコートオープン
6. *		風連町教育委員会で42人乗り中型バス導入
8. *		初の外国人英語指導助手を招致
平成元. 5. *	1989	B & G 風連海洋クラブ設立
6. *		B & G 財団風連海洋センター竣工式（7月からオープン）
2. 2. *	1990	B & G 財団風連海洋センタープール完成
4. *		風連町歴史民俗資料館開館
6. *		風連高等学校教育振興協議会設立
8. *		風連町・東京都港区中学生の初の自然体験交流会
10. *		風連中央小学校開校20周年記念を祝う集い
3. 8. 24	1991	西風連小学校開校80周年記念式典
9. *		風連高等学校が4年度公立高校適正化配置計画（原案）で条件付き学級減対象校となる
12. *		初の杉並区・風連町子ども交流会
4. 1. *	1992	風連町若妻会創立30周年記念式典
2. 27		「風連町瑞生大 학교歌」制定
6. *		B & G 財団風連海洋センターが同財団から町に譲渡
10. *		風連町スポーツ少年団本部設立20周年記念式典
		日独青少年指導者セミナー（ドイツから11人来町）
5. 2. 10	1993	下多寄小学校校舎完成
		下多寄小学校コミュニティスクール開設
5. 1		小学校社会科副読本「ふうれん」全面改訂版発行
6. 27		下多寄小学校校舎改築落成並びに開校90周年記念式典
6. 2. *	1994	東京都港区交流の「風港会」設立
		風連町サンシャインホール完成
		カンガルーのポケット事業の実施
7. *		日進小中学校に屋根付プール完成
		風の顔らんどふうれん北海道運営委員会設立
12. 5		風連幼稚園新園舎完成
7. 3. 31	1995	西風連小学校閉校（下多寄小学校に統合）

年 代	西 暦	特 記 事 項
平成 7. 9. *	1995	旧旭小学校記念碑建立除幕式
8. 4. *	1996	風連町青年会設立
8. *		風連高等学校1年生が初の海外研修（オーストラリア） 風連町教育委員会に新型バス導入
8.10. *	1996	風連町体育協会創立30周年記念式典
9. 9.20	1997	風連中学校開校50周年記念式典
10. 4. 1	1998	風連高等学校が道内初の英語標記の教育目標「EMOTION&POWER（感動と力）」施行
4. 1		風連町児童クラブの設置
4.22		杉並区より移動図書館車「たびびと君」を寄贈
11. *. *	1999	教育用コンピュータ導入（風連中央小学校）
5. 1		公民館そよかぜ事業の実施
9. *		東風連小学校開校90周年記念式典
12. *		「風連町の石碑と史跡」発行
12. 4. 1	2000	小学校英会話活動推進モデル事業の実施
7. 1		学校評議員制度導入（風連中央小学校・風連中学校）
10.27		福祉センター増築（研修室）
13. *. *	2001	東地区運動広場パークゴルフ場オープン
3. 7		風連町瑞生大学創立30周年記念式典
5.16		心の教室相談員の配置（風連中学校）
5.30		スポーツエキスパート事業の実施（風連中学校）2年間
6.24		下多寄小学校開校100周年記念式典
9. 8		風連高等学校創立50周年記念式典
14. *. *	2002	教育用コンピュータ導入（日進中学校）
3.31		小学校社会科副読本「ふうれん」全面改訂版発行
4. 1		教育相談員の配置
4. 1		文部科学省学力向上フロンティア事業指定校（風連中学校）
5. 2		民間指導者派遣事業の実施
9. 1		風連町地域教育推進協議会の設置
9. 1		風連町体験活動ボランティア活動支援センターの設置
9. 1		ふうれんっ子ひろばの実施
11. 8		小学校道徳非常勤講師配置事業の実施
15. *. *	2003	教育用コンピュータ導入（下多寄小学校・東風連小学校）
4. 1		ブックスタート事業の実施
4.26		風連スポーツクラブ「ポポ」の設立
5. 1		文化部活動外部指導者派遣事業の実施（風連中学校吹奏楽部）2年間
10.25		風連幼稚園設立50周年記念式典
16. 3. *	2004	「ふうれんちょうのはし」発行
17. *. *	2005	教育用コンピュータ導入（日進小学校）
4. 1		風連町子ども教室の実施
5.24		教育相談支援事業の実施（風連中学校）

4 名寄市教育の沿革

年 代	西 暦	特 記 事 項
平成18.	3. 27	2006 風連町と名寄市が合併し新名寄市誕生
	4. 1	体育施設の指定管理者制度導入
	4. 7	名寄市立大学開学
	11. 11	「北海道立サンピラーパーク」開園 カーリング場オープン（日進、5シート）
	12. 1	図書館電算システム運用開始
19.	3. 1	2007 名寄光凌高等学校普通科閉科
	3. 31	西プール閉鎖
	4. 1	給食センター統合
	4. 24	全国学力・学習状況調査実施
	5. 19	市営南水泳プール改築・オープン
	8. 7	移動図書館「やまゆり号」更新
	8. 18	日進小学校開校100周年・中学校開校60周年記念式典
20.	3. *	2008 風連高等学校募集停止
	4. *	学校職員評価制度導入
	4. 1	学校栄養教諭配置（名寄小、風連中央小）
	6. 24	名寄市小学校陸上大会閉幕
	6. *	北海道体力・運動能力調査実施
21.	3. 24	2009 名寄光凌高等学校閉校
	3. *	名寄農業高等学校募集停止
	4. 9	名寄産業高等学校開校
	7. 4	名寄西小学校開校50周年記念「ふれあい」の集い
	7. 23	「九度山 クトゥンヌプリ」国・名勝指定
	8. 23	東風連小学校開校100周年記念式典・祝賀会
	9. 23	名寄大谷幼稚園創立50周年記念祝賀会
	10. 4	名寄西小学校開校50周年式典
	10. 27	名寄ピヤシリ大学開学30周年記念式典
	11. 29	名寄市立木原天文台閉館・名寄市プラネタリウム館閉館
22.	3. 31	2010 風連高等学校閉校
	4. 12	ふうれん地域交流センター「風っ子ホール」オープン
	4. 17	なよろ市立天文台「きたすばる」オープン
	10. 21	キマロキ編成JR「準鉄道記念物」指定
	11. 3	名寄市立大学創立4周年・短期大学部創立50周年記念式典
	12. 16	風連中学校「校舎移転開校式」
	12. 18	名寄農業高校閉校記念式典
23.	1. 11	2011 名寄東小学校屋内運動場改築
	4. 29	なよろ市立天文台「きたすばる」グランドオープン
	23. 7. 3	風連下多寄小学校開校110周年記念式典・祝賀会
	23. 9. *	名寄市放課後子ども教室（試行）開設
24.	2. 1～4	2012 第49回全国中学校スキー大会開催
	24. 4. *	名寄市放課後子ども教室開設